

EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

Offirio
オフィリオ プロジェクター

EB-G5350

EB-G5200W



EB-G5100









■ 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  p. 122
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例: [戻る]ボタン
「(メニュー名)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例: 「画質調整」→「明るさ」
	次ページに説明が続いていることを示しています。クリックすると次のページが表示されます。
	前ページから説明が続いていることを示しています。クリックすると前のページが表示されます。

本機の特長	5
各機種共通の特徴	5
EB-G5350の特長	6
各部の名称と働き	7
前面/上面	7
底面	8
背面	9
操作パネル	11
リモコン	12

便利な機能

投写映像のゆがみを補正する	16
Quick Cornerでゆがみを補正する	16
投写映像を切り替える	18
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	18
リモコンでダイレクトに切り替える	19
投写を効果的にする機能	20
映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)	20
映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)	21
映像を停止させる(静止)	21
アスペクト比を切り替える	22
説明箇所を指し示す(ポインタ)	26
映像を部分的に拡大する(Eズーム)	27
複数台利用時に操作対象プロジェクターを限定する	28
プロジェクターのIDを設定する	29
プロジェクターIDの確認方法	29
リモコンのIDを設定する	30
複数台設置時の色差補正 (マルチスクリーンカラーアジャストメント)	31
補正手順の概要	31
補正の方法	31
セキュリティ機能	33
利用者を管理する(パスワードプロテクト)	33
操作を制限する(操作ボタンロック)	35
盗難防止用ロック	36

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作	39
機能一覧	40
画質調整メニュー	40
映像メニュー	41
設定メニュー	43
拡張設定メニュー	45
ネットワークメニュー(EB-G5200W/G5100のみ)	47
ネットワークメニュー(EB-G5350のみ)	49
情報メニュー(表示のみ)	62
初期化メニュー	63

困ったときに

ヘルプの見方	65
故障かなと思ったら	66
インジケータの見方	66
インジケータを見てもわからないとき	69

付 録

いろいろな設置方法	79
各部の掃除	80
本機の掃除	80
レンズの掃除	80
エアフィルタの掃除	80
消耗品の交換方法	83
リモコンの電池の交換方法	83
ランプの交換	84
エアフィルタの交換	87
オプション・消耗品一覧	89
輸送時のご注意	91
近くへの移動	91
輸送する場合	91
ユーザーロゴの登録	92
WPS(Wi-Fi Protected Setup)で無線LANアクセスポイントに 接続する(EB-G5350のみ)	94



接続設定の方法.....	94
スクリーンサイズと投写距離	98
EB-G5350/G5100の投写距離.....	98
EB-G5200Wの投写距離.....	99
外部機器との接続	100
外部モニタとの接続.....	100
外部スピーカーとの接続.....	100
投写レンズユニットの取り外しと取り付け	101
取り外し方.....	101
取り付け方.....	101
USB機器の接続と取り外し(EB-G5350のみ)	103
USB機器の接続.....	103
USBインジケータの見方.....	103
USB機器の取り外し方.....	103
カードのセットと取り出し(EB-G5350のみ)	104
セット方法.....	104
SDカードアクセスランプの見方.....	104
取り出し方.....	105
LANケーブルの接続	106
異常通知メールの見方	107
ESC/VP21コマンド	108
コマンドリスト.....	108
ケーブル配線.....	109
ネットワークプロジェクタについて(EB-G5350のみ)	110
PJLinkについて	111
対応解像度一覧	112
EB-G5350/G5100の対応解像度.....	112
EB-G5200Wの対応解像度.....	115
仕様一覧	118
本機仕様.....	118
同梱ソフトウェアの動作条件.....	120
外形寸法図	121
用語解説	122
索引	124
お問い合わせ先	128



各機種共通の特徴

天吊り設置時の使い易さを徹底的に追求

■ レンズセンターの形状

レンズがプロジェクター本体の中央にありますので、スクリーンと本機の位置合わせが簡単に行えます。さらに、重量バランスが取りやすいため天吊り金具への取り付けだけではなく、取り付け時に本機を傾斜させるのも容易に行えます。

■ 上下、左右レンズシフト搭載

上下方向と左右方向に映像の投写位置を調整できるレンズシフトを搭載していますので、設置の自由度がグンと広がります。

■ 5種類のオプションレンズを用意

投写距離や目的に合わせて最適なレンズを選べます。オプションレンズはバヨネット式で簡単・手軽に交換、装着できます。

■ お使いになる環境になじむデザイン

洗練された本体デザインに加えて、同梱のケーブルカバーを装着いただくと雑然としたケーブル類をきれいに包み隠します。設置時の設定に必要な操作パネルが本体背面に装備されているため、操作性がよく、また設置終了後はケーブルカバー内に隠れるためスッキリした外観となります。

■ メンテナンスの容易さ

ランプは本機の側面のカバーを開けてそのまま水平に引き抜いて交換できます。エアフィルターも本体前面からスッと抜き差しするだけで交換できます。

こだわりの色調整

カラーモードに加えて、映像の絶対色温度やRGB各色の強さの調整ができます。さらに、RGBCMYごとに、色相、彩度、明度を調整できますので、細部にわたって優れた深さとカラーマッチングで映像を作り出すことができます。

充実したセキュリティ機能

■ 利用者を制限・管理するパスワードプロテクト

パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。👉 p. 33

■ 操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック

イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。👉 p. 35

■ 多様な盗難防止の機構を装備

本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。👉 p. 36

- セキュリティスロット
- セキュリティケーブル取付け部
- レンズユニット取り外しボタン固定ネジ

扱いやすさを満載

■ ダイレクトにパワーオン/オフ

会議室など電源を集中管理している部屋でも管理元の主電源を入れる/切るして本機の電源をオン/オフすることができます。

■ クールダウン不要ですばやい片付け

使用后、本機の電源ボタンを押せばクールダウンを待つことなく電源ケーブルを抜き片付けられます。

EB-G5350の特長

同梱の『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』を使うとネットワークを有効に活用でき、効率的で多様なプレゼンテーションや会議が行えます。

マルチコネクション

■ ネットワークを介してプロジェクターとコンピュータを接続

すでに構築されているネットワークシステムにネットワークケーブルで本機を接続すると次のように効率的に会議等を行えます。

- 会議室から別の部屋のコンピュータやファイルサーバに登録されているファイルを起動して投写できます。
- インターネットが利用できます。
- コンピュータからネットワーク上のプロジェクターの監視・制御ができます。

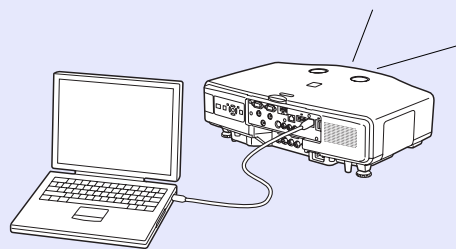
本機にオプション品の「無線LANユニット」を装着すれば、無線LANでコンピュータと接続できます。☞ 『EasyMP活用ガイド』

■ Windows Vistaの「ネットワークプロジェクタ」で接続

Windows Vista標準搭載の「ネットワークプロジェクタ」機能を使うと、本機をネットワークに接続してネットワーク上の複数のユーザーが共有プロジェクターとして利用できます。

■ USBケーブルを使って接続 (USBディスプレイ)

市販品のUSBケーブルでWindows搭載のコンピュータと接続するだけで、コンピュータ画面を投写できます。☞ 『セットアップガイド』



コンピュータ不要のプレゼンテーション

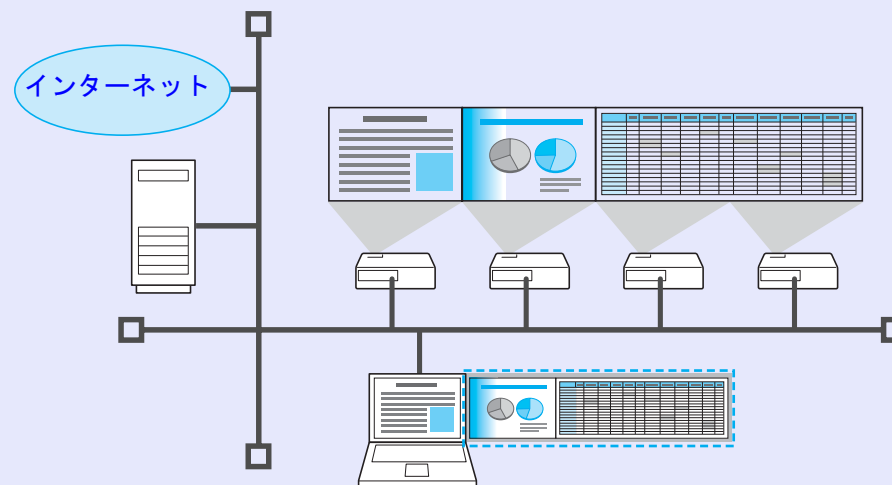
SDカードやUSBに対応したデジタルカメラやハードディスク、USBメモリをプロジェクターに接続して、SDカードやUSB機器に保存されているJPEG画像、動画、シナリオデータを直接投写できますので、コンピュータを使わずにプレゼンテーションができます。

☞ 『EasyMP活用ガイド』

第二、第三の画面を投写(マルチスクリーンディスプレイ)

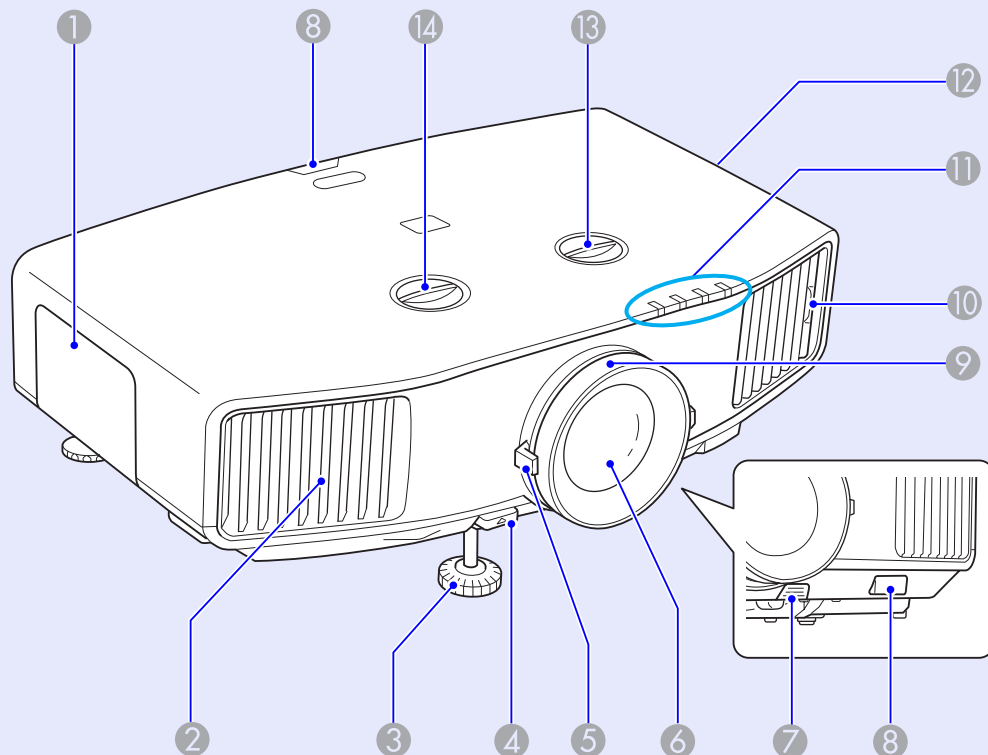
1台のコンピュータから4台までのプロジェクターに、それぞれ異なる映像を投写したり、横長の帳票画面などを一覧で投写したりできます。

☞ 『EasyMP活用ガイド』



前面/上面

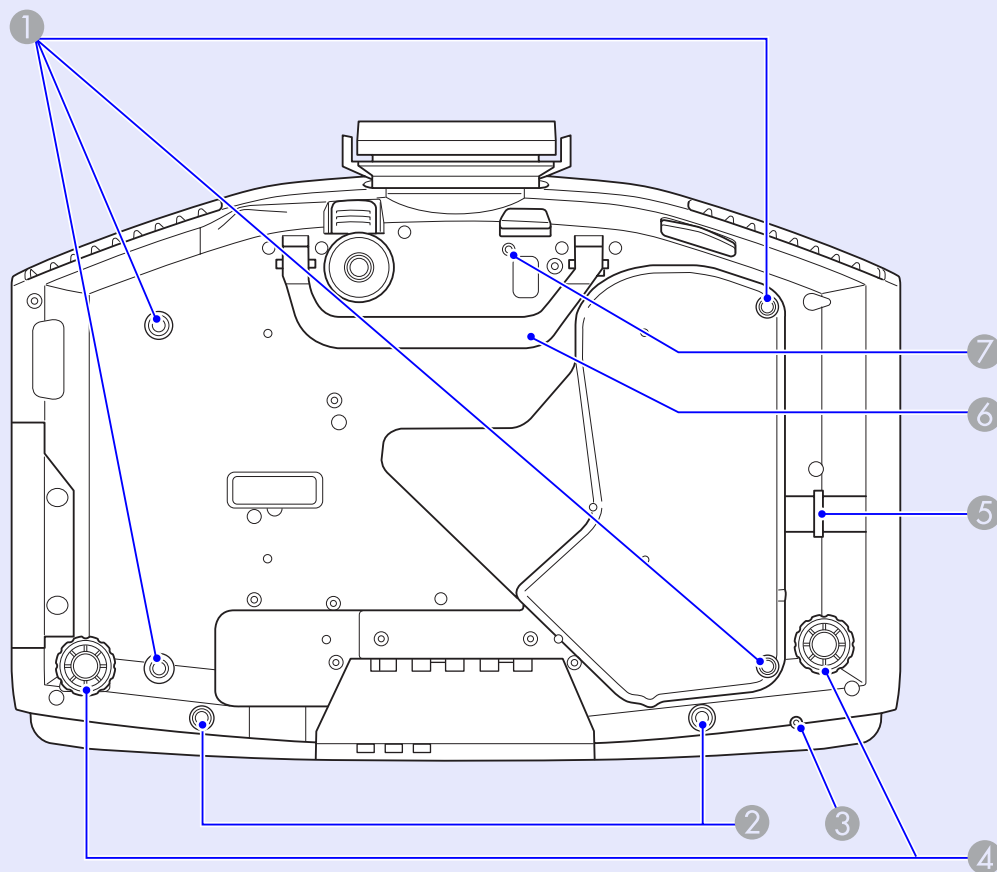
標準レンズを装着しているときのイラストになっています。



名称	働き
① ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。☞ p. 84
② 排気口	本機内部を空冷した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は、排気口の付近に熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。

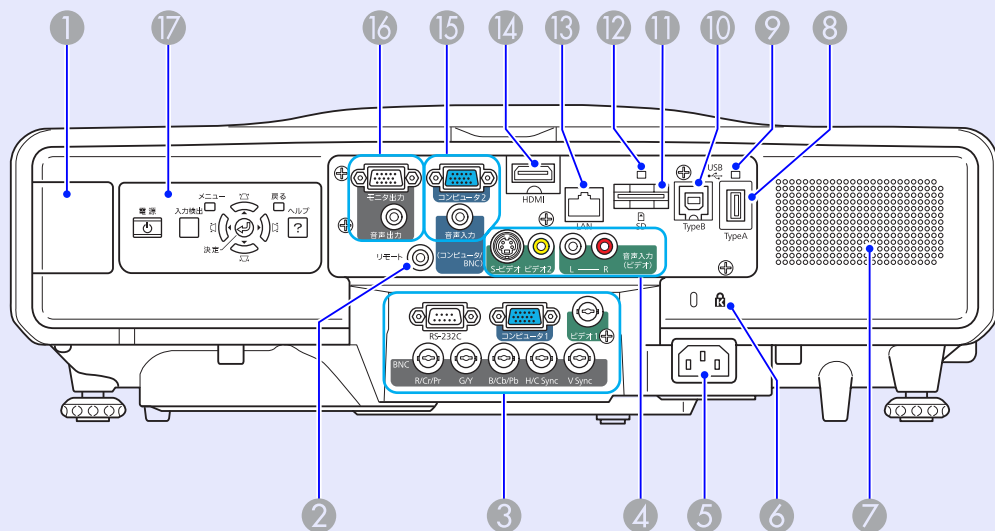
名称	働き
③ フロントフット	机上に設置したとき、本機を傾けて映像の位置を上調整するときに伸ばします。☞ 『セットアップガイド』
④ フットレバー	フットレバーを引いて、フロントフットを伸縮させます。☞ 『セットアップガイド』
⑤ ズームリング	映像のサイズを調整します。☞ 『セットアップガイド』
⑥ 投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑦ レンズユニット取外しボタン	レンズユニット交換時に、このボタンを押してレンズユニットを取り外します。
⑧ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞ 『セットアップガイド』
⑨ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。☞ 『セットアップガイド』
⑩ エアーフィルタタブ	エアーフィルタの掃除または交換時に、このタブに指をかけてエアーフィルタを引き抜きます。☞ p. 80, p. 87
⑪ 状態インジケータ	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☞ p. 66
⑫ 吸気口	本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。エアーフィルタは定期的に清掃してください。☞ p. 80
⑬ 上下レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。☞ 『セットアップガイド』
⑭ 左右レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。☞ 『セットアップガイド』

底面



名称	働き
① 天吊り固定部 (4箇所)	天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。☛ p. 79, 89
② ケーブルカバー固定ネジ穴	ケーブルカバーを固定するネジの穴です。☛ 『セットアップガイド』
③ 無線LANユニット固定ネジ穴	オプション品の無線LANユニットを装着したとき、紛失などを避けるために無線LANユニットを固定するネジの穴です。
④ リアフット	机上設置時に、水平方向の傾きを調整するとき、回して伸縮させます。☛ 『セットアップガイド』
⑤ セキュリティケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。☛ p. 36
⑥ ハンドル	本機を持ち運ぶときは、このハンドルを持って移動してください。
⑦ レンズユニット取り外しボタン固定ネジ穴	レンズユニットを装着したとき、レンズユニット取り外しボタンを固定するネジの穴です。☛ p. 36

背面



名称	働き
① 無線LANユニット装着部	オプション品の無線LANユニットをここに装着します。装着時はキャップを取り外してください。
② リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのリモート端子に差し込むと本機のリモコン受光部は機能しなくなります。
③ RS-232C端子	コンピュータから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。☛ p. 108
コンピュータ1入力端子	コンピュータ映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
ビデオ1入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
BNC入力端子	コンピュータ映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。

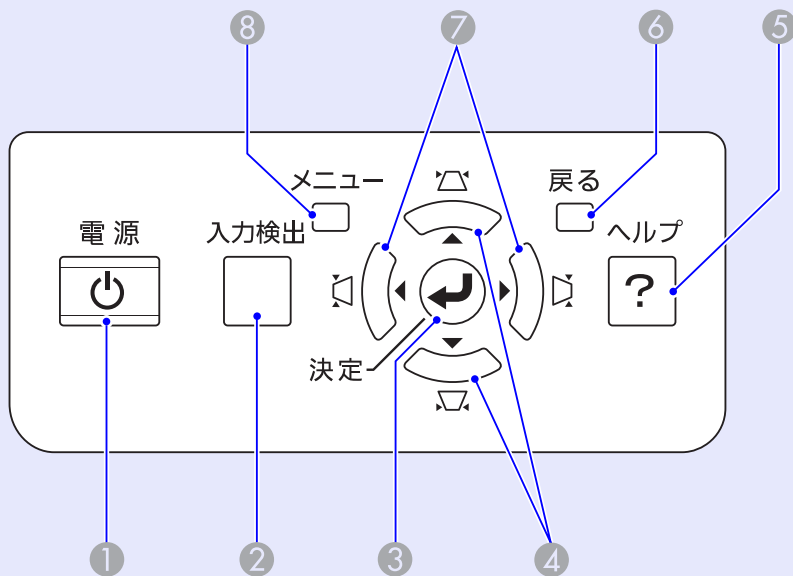
名称	働き
④ S-ビデオ入力端子 ビデオ2入力端子 音声入力端子	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。 ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。 S-ビデオ入力端子またはビデオ1/2入力端子に接続した機器のうち、本機から音声を出力したい機器の音声出力端子と接続します。 ☛ 『セットアップガイド』
⑤ 電源端子	電源ケーブルを接続します。☛ 『セットアップガイド』
⑥ セキュリティスロット (K)	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。☛ p. 36
⑦ スピーカー	
⑧ USB端子 (Type A) (EB-G5350のみ)	デジタルカメラやUSBストレージを接続し、EasyMPのPC Free機能で画像・動画ファイル、シナリオを投写します。☛ p. 103
⑨ USBインジケータ (EB-G5350のみ)	USB端子 (Type A) の状態を点灯・消灯で示します。☛ p. 103
⑩ USB端子 (Type B) (EB-G5350のみ)	市販品のUSBケーブルでコンピュータと接続して、コンピュータの映像を投写します。 ☛ 『セットアップガイド』
⑪ SDカードスロット (EB-G5350のみ)	SDメモ리카ードやSDHC (SD High Capacity) カードをセットし、保存されている画像・動画ファイルをEasyMPのPC Free機能で投写します。☛ p. 104
⑫ SDカードアクセスランプ (EB-G5350のみ)	SDカードのアクセス状態を示します。☛ p. 104
⑬ LAN端子	LANケーブルを接続し、ネットワークに接続します。☛ p. 106



名称	働き
⑭ HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピュータの信号を入力します。☞ 『セットアップガイド』
⑮ コンピュータ2入力端子 音声入力端子	コンピュータ映像信号やビデオ機器の <u>コンポーネントビデオ</u> ▶▶信号を入力します。 コンピュータ1/2入力端子、BNC入力端子に接続した機器のうち、本機から音声を出力したい機器の音声出力端子と接続します。 USBディスプレイ時に音声を本機から出力したいときも、コンピュータの音声出力端子と接続します。(EB-G5350のみ) ☞ 『セットアップガイド』
⑯ モニタ出力端子 音声出力端子	外部モニターと接続し、コンピュータ1/2入力端子とBNC入力端子から入力しているコンピュータ映像信号を出力します。コンポーネントビデオ信号やコンピュータ1/2入力端子とBNC入力端子以外の端子から入力している信号には対応していません。☞ p. 100 現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。☞ p. 100
⑰ 操作パネル	☞ p. 11



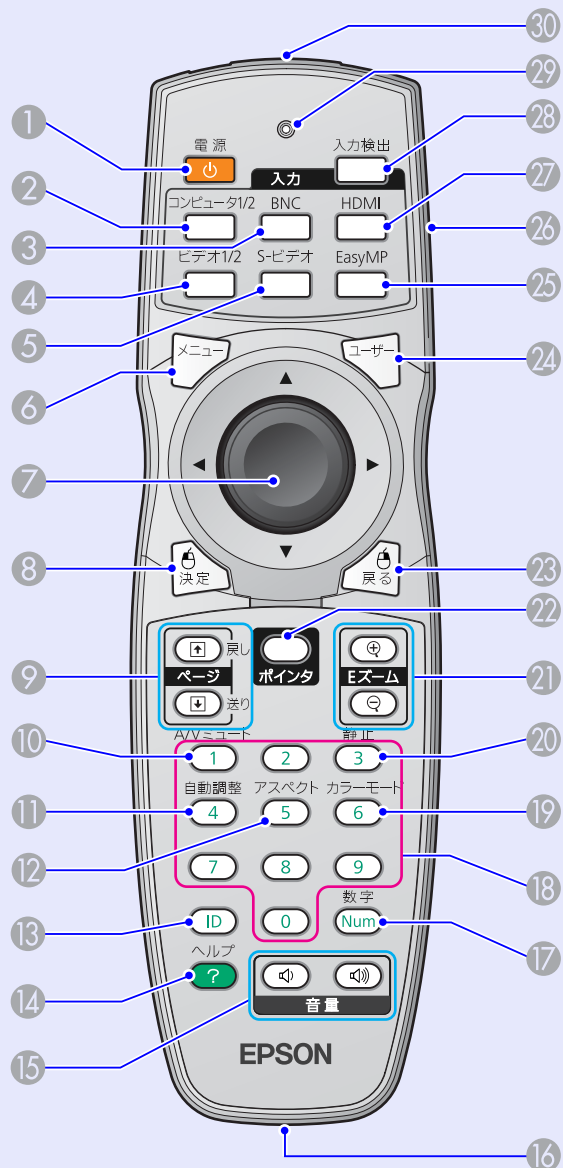
操作パネル



名称	働き
① [⏻]ボタン	電源をオン/オフします。☞ 『セットアップガイド』
② [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p. 18
③ [決定]ボタン	コンピュータ映像信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☞ p. 39

名称	働き
④ [⏪/⏩][⏮/⏭]ボタン	台形補正するときに押します。ただし、以下の場合は[▲][▼]ボタンとしてだけ機能します。 ・ネットワーク接続して投写しているとき ・PC Free機能で投写しているとき 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☞ 『セットアップガイド』, p. 39
⑤ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p. 65
⑥ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。☞ p. 39
⑦ [⏪/⏩][⏮/⏭]ボタン	台形補正するときに押します。ただし、以下の場合は[◀][▶]ボタンとしてだけ機能します。 ・ネットワーク接続して投写しているとき ・PC Free機能で投写しているとき 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☞ 『セットアップガイド』, p. 39
⑧ [メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☞ p. 39

リモコン



名称	働き
① [⏻] ボタン	本機の電源をオン/オフします。☞ 『 セットアップガイド 』
② [コンピュータ1/2] ボタン	コンピュータ1入力端子、コンピュータ2入力端子からの映像に切り替えます。☞ p. 19
③ [BNC] ボタン	BNC入力端子からの映像に切り替えます。☞ p. 19
④ [ビデオ1/2] ボタン	ビデオ1入力端子、ビデオ2入力端子からの映像に切り替えます。☞ p. 19
⑤ [S-ビデオ] ボタン	S-ビデオ入力端子からの映像に切り替えます。☞ p. 19
⑥ [メニュー] ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。☞ p. 39
⑦ [⊙] ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。☞ p. 39 , p. 65 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、ボタンを傾けると傾けた方向(8方向)にマウスポインタが移動します。
⑧ [決定] ボタン	環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。☞ p. 39 , p. 65 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの左ボタンとして機能します。
⑨ [ページ] ボタン (↑) (↓)	入力ソースがEasyMPでPowerPointファイルやシナリオを投写中に、このボタンを押すとページ送り/戻しができます。(EB-G5350のみ) ☞ 『 EasyMP活用ガイド 』 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時にPowerPointファイルを投写中も、このボタンを押してページ送り/戻しができます。



名称	働き
⑩ [A/Vミュート]ボタン	映像と音声を一時的に消去/解除します。 ☞ p. 21
⑪ [自動調整]ボタン	コンピュータ映像信号を投写中に押すと、最適に映るようにトラッキング・同期・表示位置が自動調整されます。
⑫ [アスペクト]ボタン	押すたびに、アスペクト比が切り替わります。 ☞ p. 22
⑬ [ID]ボタン	リモコンIDを設定するときに押します。 ☞ p. 30
⑭ [ヘルプ]ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。☞ p. 65
⑮ [音量]ボタン (◀) (▶)	(◀) 音量を下げます。 (▶) 音量を上げます。 ☞ 『セットアップガイド』
⑯ リモート端子	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのリモート端子に差し込むとリモコン発光部は機能しなくなります。
⑰ [数字]ボタン	パスワードや「ネットワークメニュー」でIPアドレスなどを入力するときに使います。 ☞ p. 33
⑱ テンキーボタン	パスワード入力やリモコンIDの指定、「ネットワークメニュー」でIPアドレスなどを入力するときに使います。☞ p. 33, p. 30
⑲ [カラーモード]ボタン	押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☞ p. 20
⑳ [静止]ボタン	映像を一時停止/解除します。☞ p. 21

名称	働き
㉑ [Eズーム]ボタン (⊕) (⊖)	(⊕) 投写サイズを変えずに映像を拡大します。 (⊖) [⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。 ☞ p. 27
㉒ [ポインタ]ボタン	投写中の映像をポインタで指し示すときに押します。☞ p. 26
㉓ [戻る]ボタン	実行中の機能を終了します。環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☞ p. 39 オプション品のワイヤレスマウスレシーバー使用時は、マウスの右ボタンとして機能します。
㉔ [ユーザー]ボタン	環境設定メニューの項目のうち良く使われる6項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。☞ p. 43 初期設定では「テストパターン」が割り当てられています。
㉕ [EasyMP]ボタン	EasyMPの映像に切り替えます。(EB-G5350のみ) ☞ p. 19 EB-G5200W/G5100をお使いのときは、ボタンを押しても何も機能しません。
㉖ IDスイッチ	リモコンのID設定の有効(On)/無効(Off)を切り替えるスイッチです。☞ p. 28
㉗ [HDMI]ボタン	HDMI入力端子からの映像に切り替えます。 ☞ p. 19
㉘ [入力検出]ボタン	次に映像信号が入力されている機器の映像に切り替えます。☞ p. 18

名称	働き
29 インジケータ	リモコン信号を出力しているときに発光します。
30 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。





便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティ機能について説明しています。

投写映像のゆがみを補正する.....	16	複数台利用時に操作対象プロジェクターを 限定する	28
• Quick Cornerでゆがみを補正する	16	• プロジェクターのIDを設定する	29
投写映像を切り替える	18	• プロジェクターIDの確認方法	29
• 入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)	18	• リモコンのIDを設定する	30
• リモコンでダイレクトに切り替える	19	複数台設置時の色差補正 (マルチスクリーンカラーアジャストメント).....	31
投写を効果的にする機能	20	• 補正手順の概要	31
• 映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)	20	• 補正の方法	31
• 映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)	21	セキュリティ機能	33
• 映像を停止させる(静止)	21	• 利用者を管理する(パスワードプロテクト)	33
• アスペクト比を切り替える	22	パスワードプロテクトの種類	33
切り替え方法.....	22	パスワードプロテクトの設定方法	33
ビデオ機器の映像のアスペクトを切り替える....	22	パスワードの認証	35
コンピュータ映像/HDMI映像のアスペクトを 切り替える(EB-G5350/G5100の場合).....	23	• 操作を制限する(操作ボタンロック)	35
コンピュータ映像/HDMI映像のアスペクトを 切り替える(EB-G5200Wの場合).....	24	• 盗難防止用ロック	36
• 説明箇所を指し示す(ポインタ)	26	ワイヤーロックの取り付け方	36
• 映像を部分的に拡大する(Eズーム)	27	投写レンズの盗難防止	37

投写映像のゆがみを補正するには、以下の2通りの方法があります。

- Quick Corner
スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。
☞ p.16
- タテヨコ補正
タテ方向の台形ゆがみ、ヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。タテヨコ補正は台形ゆがみを微調整するのに向いています。本体操作パネルの[▽/▲][□/▼][⏪/◀][⏩/▶]ボタンで簡単に補正できます。☞『[セットアップガイド](#)』

この2通りの方法は併用できません。環境設定メニューの「台形補正」で使用する補正方法を選択すると、選択した補正方法が操作パネルの[▽/▲][□/▼][⏪/◀][⏩/▶]ボタンに割り当てられます。初期設定では「台形補正」が「タテヨコ」に設定されているので[▽/▲][□/▼][⏪/◀][⏩/▶]ボタンを押すとタテヨコ補正が実行されます。

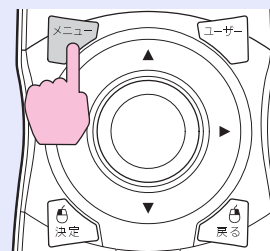
「Quick Corner」、「タテヨコ補正」はテストパターン投写中にも実行できるので、準備作業にコンピュータなどの接続が不要です。

Quick Cornerでゆがみを補正する

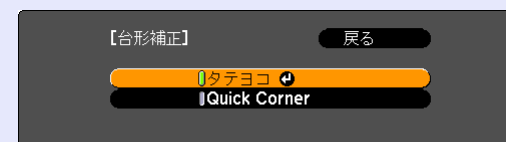
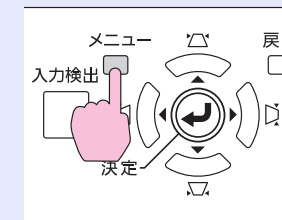
操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「設定メニュー」→「台形補正」を選びます。
☞「[環境設定メニューの操作](#)」 p.39

リモコンの場合



操作パネルの場合

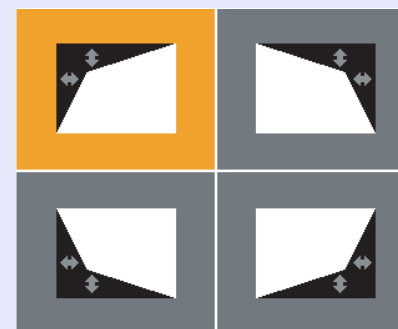


【戻る】:戻る 【↔】:選択 【決定】:決定 【メニュー】:終了

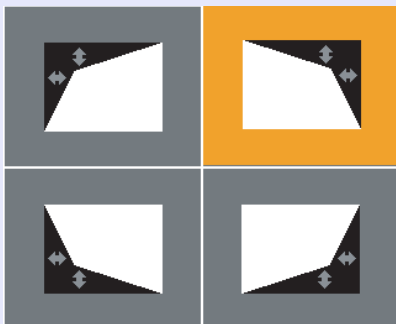


「Quick Corner」を選択し[決定]ボタンを押します。

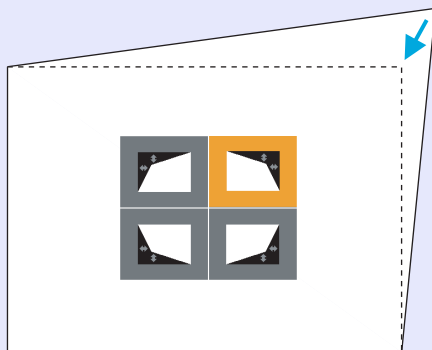
もう一度[決定]ボタンを押すと、次の4つのコーナーを選択する画面が表示されます。



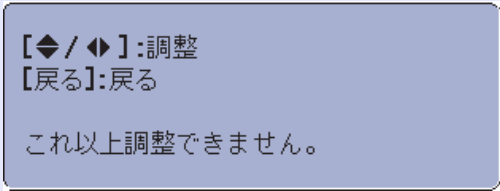
- ③ 補正するコーナーをリモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[▽/▲][□/▼][◀/▶][▶/▶]ボタンで選択して[決定]ボタンを押します。



- ④ リモコンの[◉]ボタンまたは操作パネルの[▽/▲][□/▼][◀/▶][▶/▶]ボタンでコーナーの位置を補正します。



補正中に以下の画面が表示されたときは、補正量の限界に達したことを示しています。



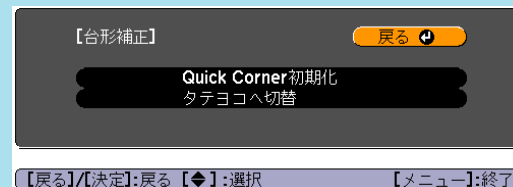
- ⑤ 手順③と④を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。

- ⑥ 補正を終了するには、[戻る]ボタンを押します。

環境設定メニューの「台形補正」で補正方法を「Quick Corner」に変更したので、以降は操作パネルの[▽/▲][□/▼][◀/▶][▶/▶]ボタンを押すと手順②のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの[▽/▲][□/▼][◀/▶][▶/▶]ボタンを押したときにタテヨコ補正したいときは、環境設定メニューの「台形補正」を「タテヨコ」に変更してください。



Quick Cornerで補正中に[戻る]ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



Quick Corner初期化:Quick Cornerで補正した結果を初期化します。
 タテヨコへ切替え:補正方法をタテヨコに切り替えます。▶ p. 43

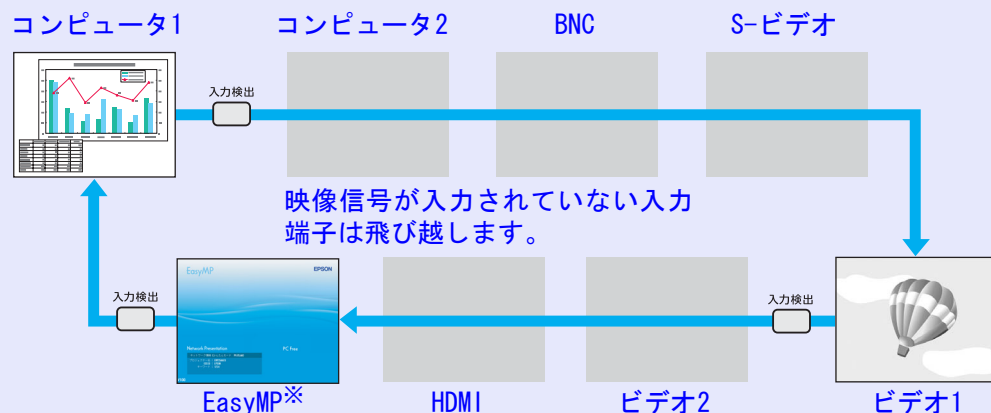


投写する映像を切り替えるには以下の2通りの方法があります。

- 入力検出で切り替える
本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。
- ダイレクトに切り替える
リモコンから目的の入力端子のボタンを押して切り替えます。

入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

[入力検出]ボタンで切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。



※EasyMPに切り替わるのはEB-G5350だけです。

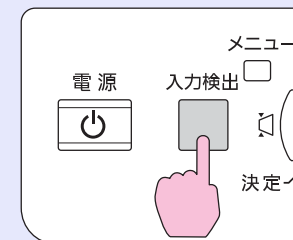
操作

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。

リモコンの場合



操作パネルの場合



複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで [入力検出] ボタンを繰り返し押します。



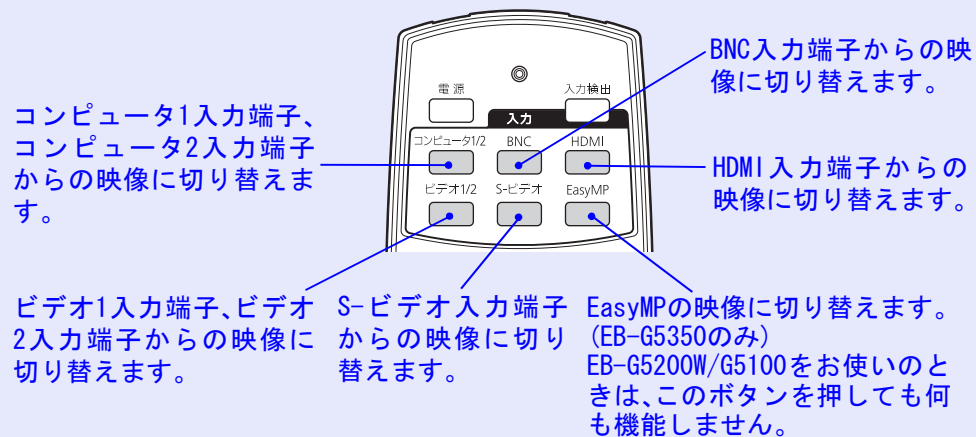
現在投写されている映像信号しか入力されていない場合や映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することができます。何も操作しないと、約10秒で画面は消えます。



リモコンでダイレクトに切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。

リモコン

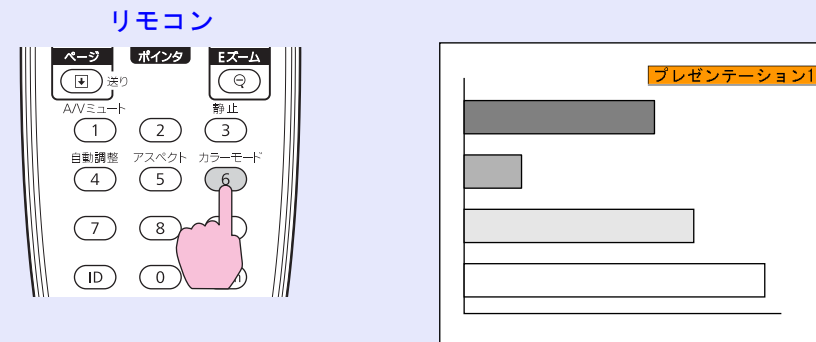


映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。
プレゼンテーション 1	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
プレゼンテーション 2	明るい部屋で、白黒の資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト	(コンピュータ映像信号入力時のみ) 明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ	(コンポーネントビデオ、S-ビデオ、コンポジットビデオ信号入力時のみ) 明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB▶▶	sRGBに準拠した映像になります。
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
カスタム	環境設定メニューの「カラー調整」で「R, G, B, C, M, Y」の調整をしたいときは事前にカスタムを選択しておきます。

操作



ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。

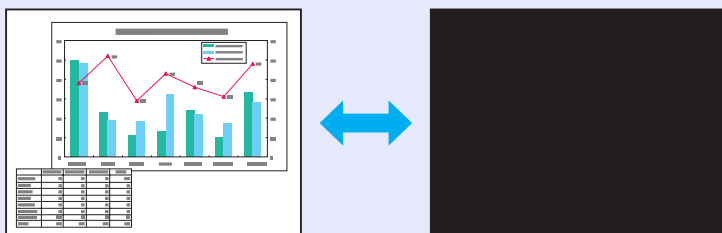
カラーモード名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のカラーモードに切り替わります。



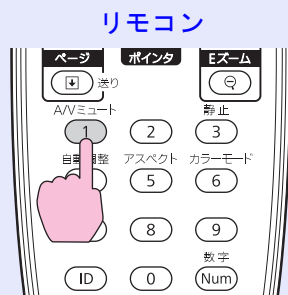
環境設定メニューの「画質調整」→「カラーモード」からも設定できます。▶ p.40

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



操作



ボタンを押すたびにA/Vミュートが実行/解除されます。

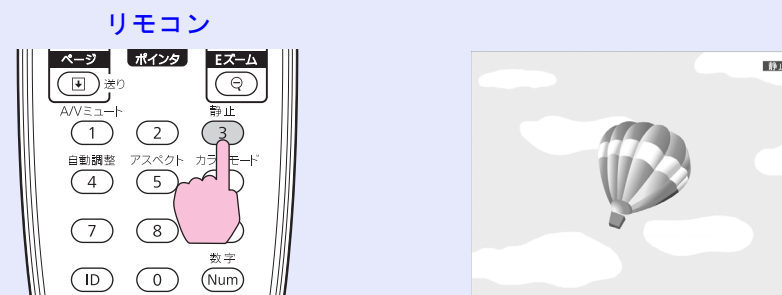


- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- A/Vミュート中の表示状態は、環境設定メニューの「拡張設定」→「表示設定」→「A/Vミュート」で黒、青、ロゴの中から選ぶことができます。👉 p.45

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

操作



ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。



- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に[静止]ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

アスペクト比を切り替える

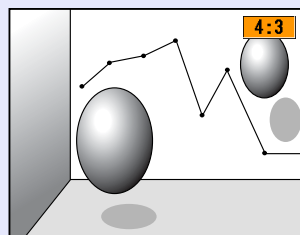
ビデオ機器を接続し、デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写するときはアスペクト比▶を切り替えます。コンピュータ映像を投写サイズいっぱい投写するときなどもアスペクト比を切り替えます。

切り替え方法とアスペクトの種類は次のとおりです。

切り替え方法

操作

リモコン



ボタンを押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクトが切り替わります。

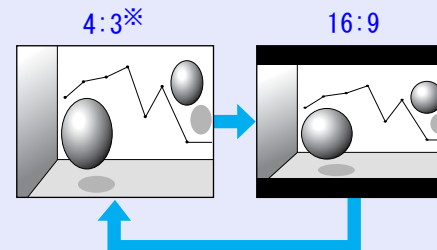
アスペクト名が画面上に表示されている間にボタンを押すと、次のアスペクトモードに切り替わります。



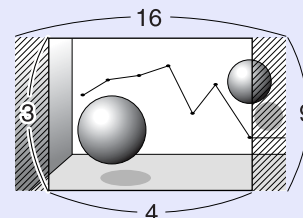
環境設定メニューの「映像」→「アスペクト」からも設定できます。▶ p.41

ビデオ機器の映像のアスペクトを切り替える

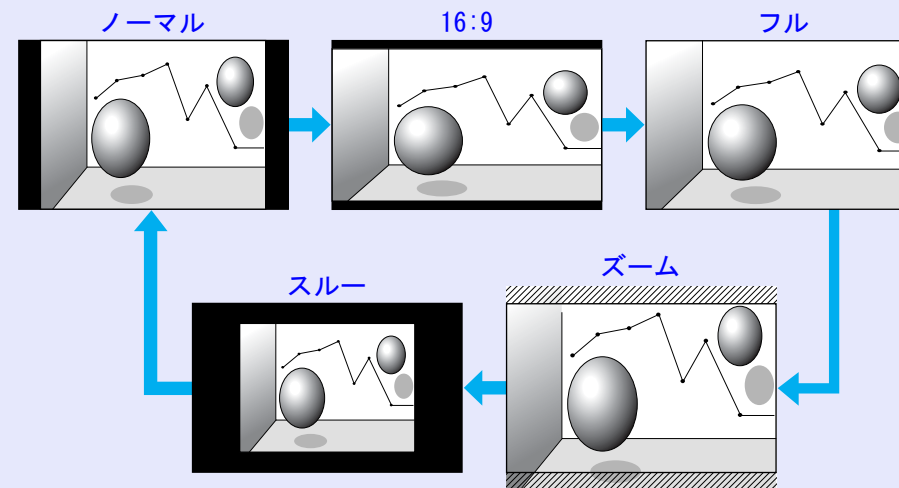
EB-G5350/G5100の場合



※720p/1080i/1080p信号入力時はズーム4:3表示になります。

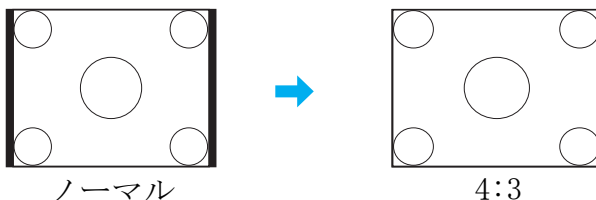
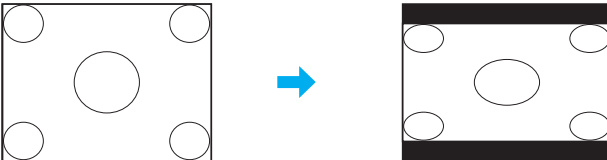
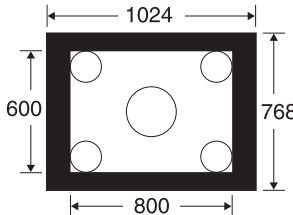
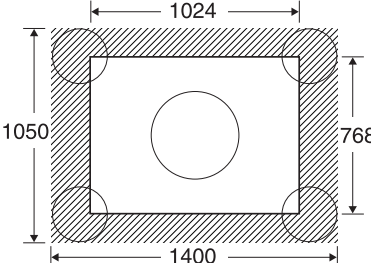


EB-G5200Wの場合



■ コンピュータ映像/HDMI映像のアスペクトを切り替える (EB-G5350/G5100の場合)

コンピュータ映像、またはHDMI入力端子からの入力映像投写時は、以下のようにアスペクトを切り替えられます。

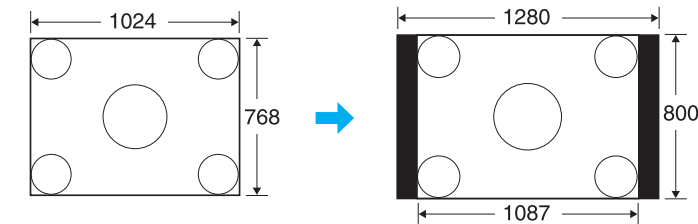
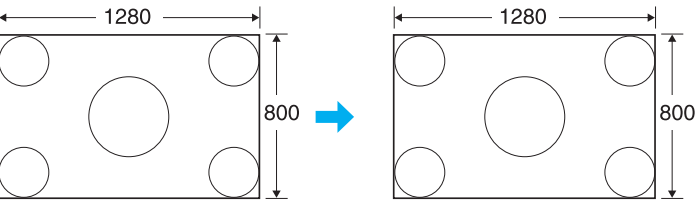
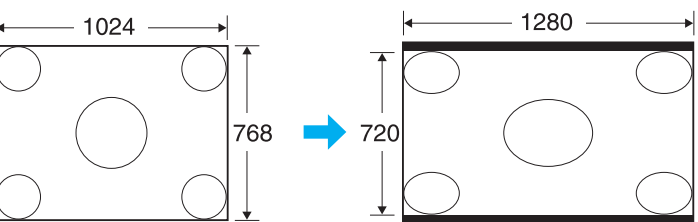
設定値		動作	投写例	
ノーマル	コンピュータ 1/2、 BNC入力端子から映像入力時	入力した映像のアスペクトのまま投写サイズいっぱいになるように投写します。		
オート	HDMI入力端子から映像入力時	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクトで投写します。		
4:3		4:3のアスペクトで投写サイズいっぱいになるように投写します。アスペクトが5:4(1280×1024など)の映像を投写サイズいっぱいに投写したいときなどに適しています。	1280×1024の信号入力時の場合  ノーマル → 4:3	
16:9		16:9のアスペクトで投写します。16:9のスクリーン使用時に、スクリーンいっぱいに投写したいときに適しています。	1280×1024の信号入力時の場合  ノーマル → 16:9	
スルー		入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。映像の解像度が1024×768を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。	800×600の信号入力時  1024 600 768 800	1400×1050の信号入力時  1024 1050 768 1400



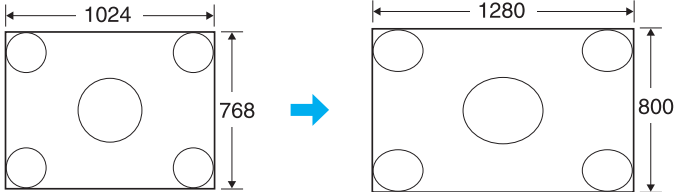
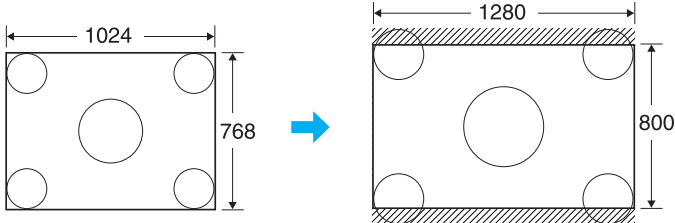
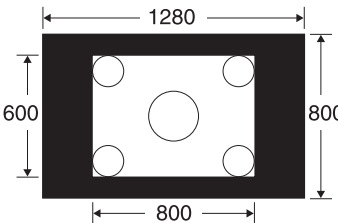
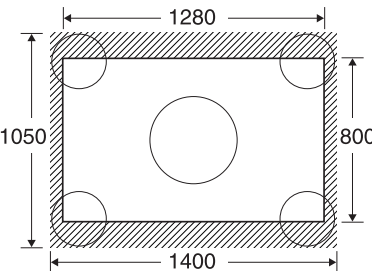
コンピュータ映像投写時に投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの「入力解像度」をお使いのコンピュータのパネルサイズに合わせて「ワイド」または「ノーマル」に設定してください。▶ p.41

■ コンピュータ映像/HDMI映像のアスペクトを切り替える(EB-G5200Wの場合)

コンピュータ映像、またはHDMI入力端子からの入力映像投写時は、以下のようにアスペクトを切り替えられます。EB-G5200Wはパネル解像度がWXGAのため投写サイズは1280×800ドット(アスペクト比16:10)です。16:9のスクリーンに投写するときは、アスペクトを「16:9」に設定してください。

設定値		動作	投写例
ノーマル	コンピュータ 1/2、 BNC入力端子から映像入力時	入力した映像のアスペクトのまま投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024×768の信号入力時の場合 
オート	HDMI入力端子から映像入力時	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクトで投写します。	1280×800の信号入力時の場合 
16:9		16:9のアスペクトで投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024×768の信号入力時の場合 



設定値	動作	投写例	
フル	投写サイズいっぱいになるように投写します。	1024×768の信号入力時の場合 	
ズーム	入力した映像のアスペクトのまま横方向が投写サイズいっぱいになるように投写します。投写サイズをはみ出した分は投写されません。	1024×768の信号入力時の場合 	
スルー	入力した映像の解像度のまま投写サイズの中央に投写します。よりはっきり投写したいときに適しています。映像の解像度が1280×800を超えるときは、映像の周辺部分は投写されません。	800×600の信号入力時 	1400×1050の信号入力時 

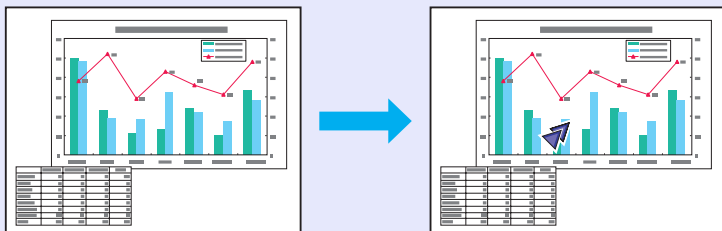


コンピュータ映像投写時に投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、環境設定メニューの「入力解像度」をお使いのコンピュータのパネルサイズに合わせて「ワイド」または「ノーマル」に設定してください。👉 p.41



説明箇所を指し示す(ポインタ)

ポインタで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。



操作

1 ポインタを表示します。

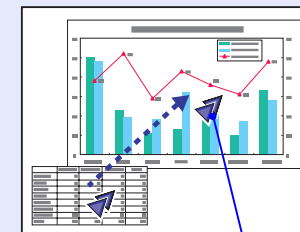
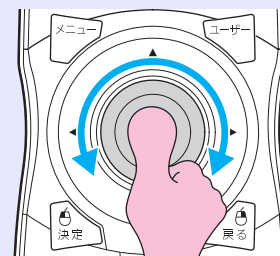
リモコン



ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

2 ポインタアイコンを移動します。

リモコン



ポインタアイコン

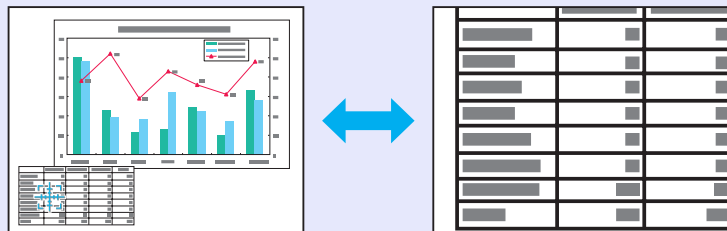


環境設定メニューの「設定」→「ポインタ形状」でポインタアイコンの形状を3種類(· ·)から設定できます。

👉 p.43

映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。



操作

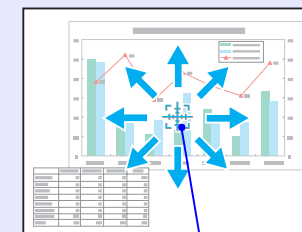
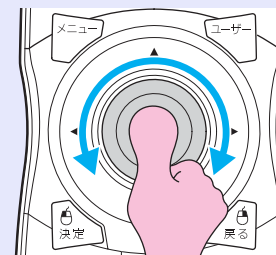
1 Eズームを開始します。

リモコン



2 拡大表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。

リモコン



ターゲットスコープ

3 拡大します。

リモコン



ボタンを押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。
[Q]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
解除するには[戻る]ボタンを押します。



- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- [Q]を傾けると、映像をスクロールできます。
- プログレッシブ変換、ノイズリダクションを行っているときにEズームで拡大すると、実行している機能は一時的に解除されます。

プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するとき便利です。

プロジェクターには1～9までのIDを設定できます。初期値は「オフ」になっており、リモコンのID設定に関わらずリモコンで操作ができます。

リモコンには0～9までのIDを設定できます。初期値は「0」になっており、プロジェクターのID設定に関わらずリモコンで操作ができます。また、リモコンの側面にはIDスイッチがあり、このスイッチをOffにしているとプロジェクターやリモコンのID設定に関わらず、すべてのプロジェクターをリモコンで操作できます。

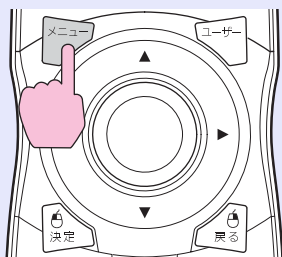
リモコン操作:可	リモコン操作:不可	リモコン操作:可	リモコン操作:可	リモコン操作:可
○	×	○	○	○
<p>プロジェクター ID:1</p> <p>IDスイッチ:On リモコンID:1</p>	<p>プロジェクター ID:1</p> <p>IDスイッチ:On リモコンID:3</p>	<p>プロジェクター ID:1</p> <p>IDスイッチ:Off リモコンID:3</p>	<p>プロジェクター ID:オフ</p> <p>IDスイッチ:On リモコンID:1</p>	<p>プロジェクター ID:1</p> <p>IDスイッチ:On リモコンID:0</p>
プロジェクターIDとリモコンIDが一致し、かつリモコンのIDスイッチが0nの例	プロジェクターIDとリモコンIDが一致せず、かつリモコンのIDスイッチが0nの例	プロジェクターIDとリモコンIDが一致せず、かつリモコンのIDスイッチが0ffの例	プロジェクターIDがオフの例	リモコンIDが0で、かつIDスイッチが0nの例

プロジェクターのIDを設定する

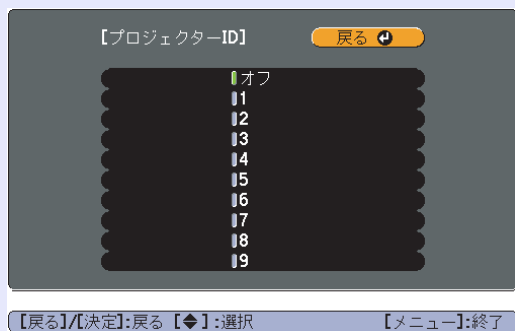
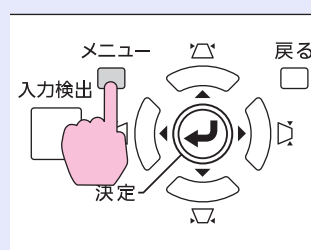
操作

- 1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「拡張設定」→「プロジェクターID」を選びます。☞「環境設定メニューの操作」p.39

リモコンの場合



操作パネルの場合



- 2 設定したいIDを選び[決定]ボタンを押します。

- 3 [メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

プロジェクターIDの確認方法

設定されているプロジェクターIDの確認は以下の操作で行います。

操作

リモコン



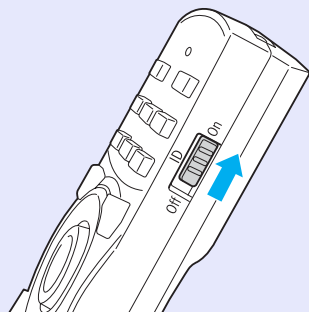
本機で投写中に、リモコンの[ID]ボタンを押したまま[ヘルプ]ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されます。

リモコンのIDを設定する

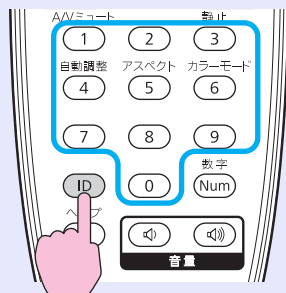
リモコン側面のIDスイッチがOffになっているとリモコンIDは無効になり、リモコンIDの設定に関わらずプロジェクターを操作できません。IDスイッチをOnにすると、リモコンIDが有効になり操作するプロジェクターを限定できるようになります。リモコンIDの設定もIDスイッチをOnにして行います。

操作

- 1 リモコンのIDスイッチをOnに設定します。



- 2 [ID] ボタンを押したまま、操作対象プロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



押したまま

設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されます。



リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期値(ID0)に戻ります。


本機は複数台並べて並列投写したとき、それぞれの映像の明るさと色合いの違いをマルチスクリーンカラーアジャストメント機能で補正することができます。

補正を行ってもそれぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないこともあります。

補正手順の概要

複数台設置されているプロジェクターの中で補正が必要なプロジェクターに対して1台ずつ以下の操作を行い補正します。

1. プロジェクターIDとリモコンIDを設定する

補正対象のプロジェクターに限定して操作するため、対象となるプロジェクターにプロジェクターIDを設定し、リモコンIDも一致するように設定します。  p. 28

2. 色差補正を行う

複数台を投写した状態で色差補正を行います。黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1~5と呼び、この5レベルすべてに対して次の2点の補正を行います。


- 明るさの補正
映像の明るさが揃うように補正します。
- 色の補正
映像の色味が合うように「色補正(緑-赤)」と「色補正(青-黄)」を補正します。

補正の方法

複数台を投写した状態でプロジェクターごとの明るさと色合いの差が縮まるように補正します。

操作

1

[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「拡張設定」→「マルチスクリーン」を選びます。  「環境設定メニューの操作」 p.39

2

「調整レベル」で補正するレベルを選択します。

- レベルを選択するたびに、選択したレベルのパターンが表示されます。
- どのレベルから調整を始めてもかまいませんが、通常は1→5あるいは5→1のように暗い順あるいは明るい順に補正します。

3

「明るさ補正」で明るさの補正をします。

- レベル5を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち最も暗い映像に合わせます。
- レベル1を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち最も明るい映像に合わせます。
- レベル2~4を選択しているときは複数あるプロジェクターのうち中間の明るさの映像に合わせます。
- [決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で補正結果の確認や補正を行うこともできます。



- 4** 「色補正(緑-赤)」と「色補正(青-黄)」を補正します。
[決定]ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で補正結果の確認や補正を行うこともできます。
- 5** すべてのレベルを補正し終わるまで、手順2～4を繰り返します。
- 6** 補正がすべて終了したら、[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
- 盗難防止用ロック
本機には機器そのものを持ち出されないように、多様な盗難防止の機構が備わっています。

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

1. 「電源投入時」

「電源投入時」を「オン」にすると、電源ケーブルで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

2. 「ユーザーロゴ保護」

せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。「ユーザーロゴ保護」を「オン」にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。

- ユーザーロゴのキャプチャ
- 環境設定メニューの「表示設定」で「背景表示」、「スタートアップスクリーン」、「A/Vミュート」の設定を変更する。

3. 「ネットワーク保護」

「ネットワーク保護」を「オン」にすると、環境設定メニューの「ネットワーク」の設定変更を禁止できます。

パスワードプロテクトの設定方法

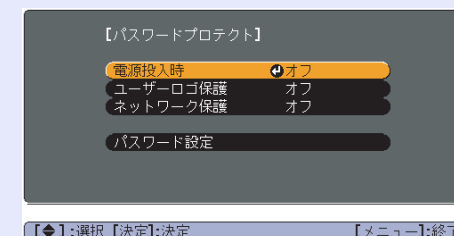
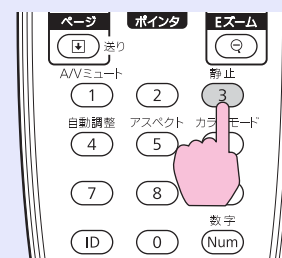
パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

操作

1

本機で投写中に[静止]ボタンを約5秒間押し続けます。パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン



- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。☛「パスワードの認証」 p.35
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2

「電源投入時」を有効にします。

- (1) 「電源投入時」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (2) 「オン」を選択し、[決定]ボタンを押します。
- (3) [戻る]ボタンを押します。



3 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。

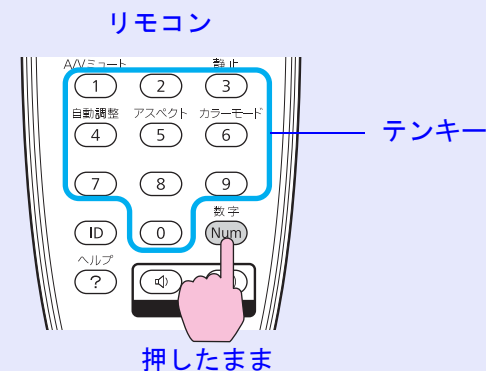
- (1) 「ユーザーロゴ保護」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- (2) 「オン」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- (3) [戻る] ボタンを押します。

4 「ネットワーク保護」を有効にします。

- (1) 「ネットワーク保護」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- (2) 「オン」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- (3) [戻る] ボタンを押します。

5 パスワードを設定します。

- (1) 「パスワード設定」を選択し、[決定] ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか?」と表示されるので、「はい」を選択し、[決定] ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。「いいえ」を選択すると、手順1の画面に戻ります。
- (3) [数字] ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「* * * *」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。



- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。



■ パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら設定してあるパスワードをリモコンの数字ボタンを使って入力します。

操作

[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力し終わると投写が開始されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて 3 回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード:xxxxx」の番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
☞ p.128
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて 30 回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」☞ p.128

操作を制限する(操作ボタンロック)

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。

- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの[⏏]ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

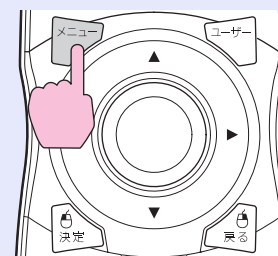
イベントやショーなどで投写するだけで操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

操作

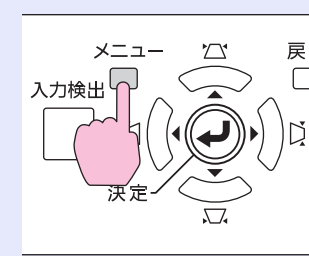
1

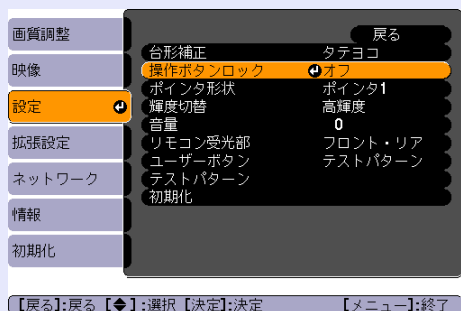
本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「設定」→「操作ボタンロック」を選びます。
☞ 「環境設定メニューの操作」 p.39

リモコンの場合

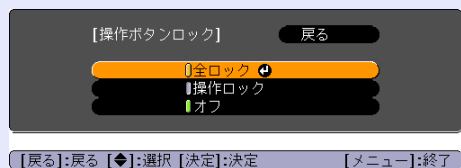


操作パネルの場合





2 「全ロック」か「操作ロック」のどちらかを選択します。



3 確認のメッセージが表示されるので、「はい」を選びます。

設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの「設定」→「操作ボタンロック」を「オフ」に設定します。
- 操作パネルの[決定]ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

盗難防止用ロック

本機は無人になる部屋に天吊りなど固定設置されることが多いため、機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

• セキュリティスロット

Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。マイクロサーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensington のホームページ <http://www.kensington.com/> でご確認ください。

• セキュリティケーブル取付け部

市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

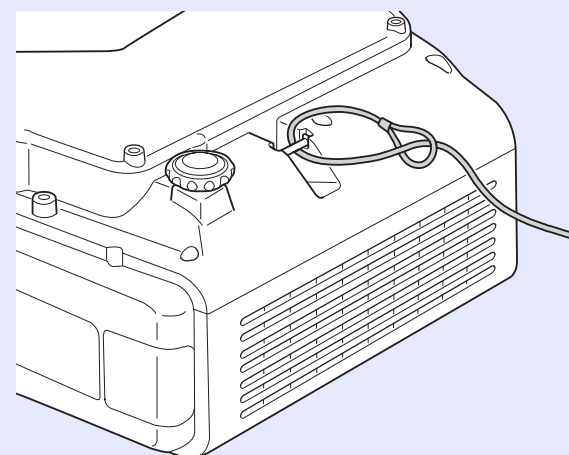
• レンズユニット取り外しボタン固定ネジ

同梱のネジで投写レンズがすぐに取り外せないようにレンズユニット取り外しボタンを固定できます。

■ ワイヤーロックの取り付け方

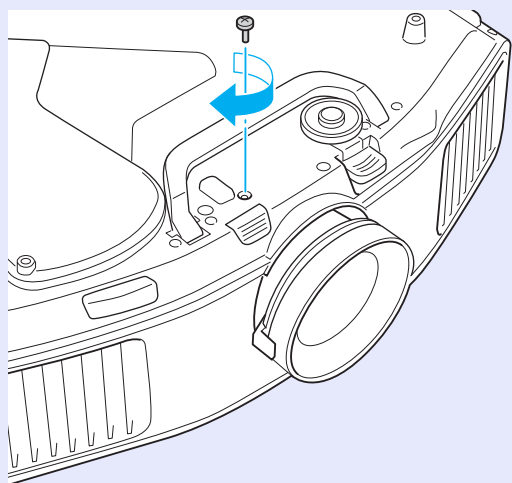
盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。



■ 投写レンズの盗難防止

本機の投写レンズはバヨネット式で簡単・手軽に交換ができます。盗難が心配な場合は、同梱のネジで固定しておくこととすぐに取り外せないため盗難防止に役立ちます。





環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

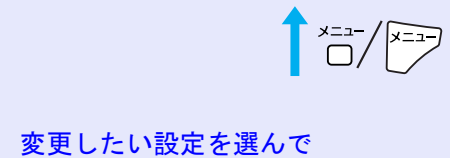
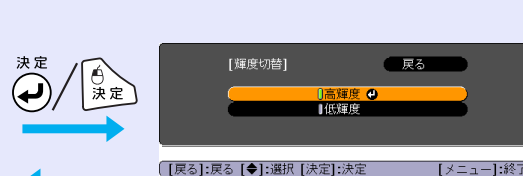
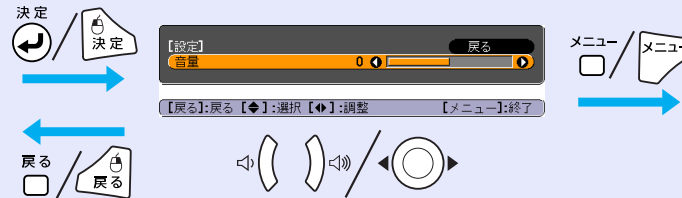
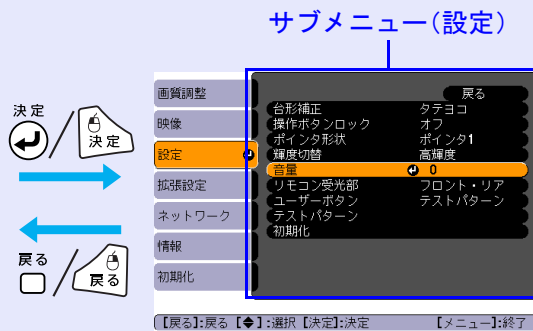
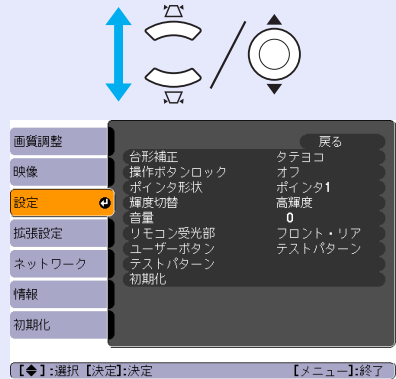
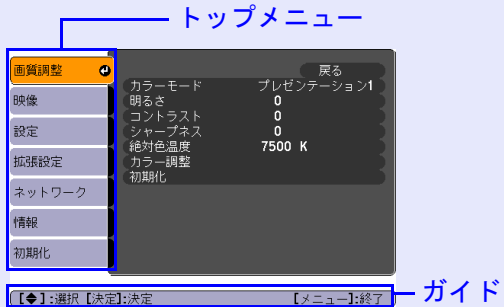
環境設定メニューの操作	39	無線LANメニュー(オプション品の 無線LANユニット装着時のみ)	52
機能一覧	40	セキュリティメニュー(オプション品の 無線LANユニット装着時に有効)	54
• 画質調整メニュー	40	有線LANメニュー	58
• 映像メニュー	41	メールメニュー	59
• 設定メニュー	43	その他メニュー	60
• 拡張設定メニュー	45	初期化メニュー	61
• ネットワークメニュー(EB-G5200W/G5100のみ)	47	• 情報メニュー(表示のみ)	62
• ネットワークメニュー(EB-G5350のみ)	49	• 初期化メニュー	63
ネットワークメニュー操作上のご注意	50		
ソフトキーボードの操作	50		
基本設定メニュー	51		

1 トップメニューの選択

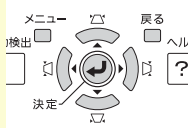
2 サブメニューの選択

3 選択した項目の変更

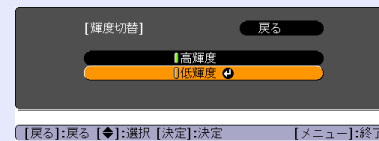
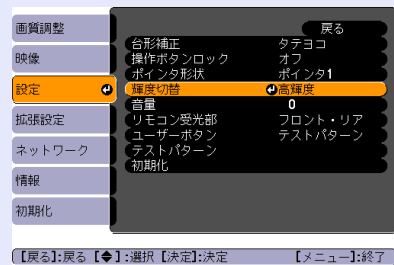
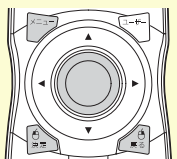
4 終了



使用するボタン 操作パネルの場合



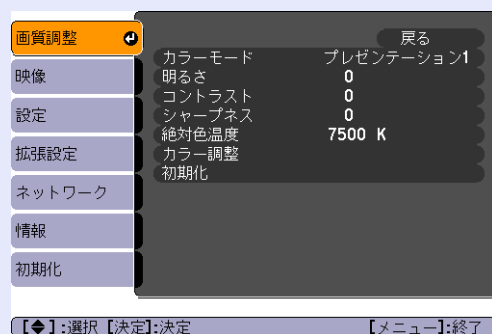
リモコンの場合



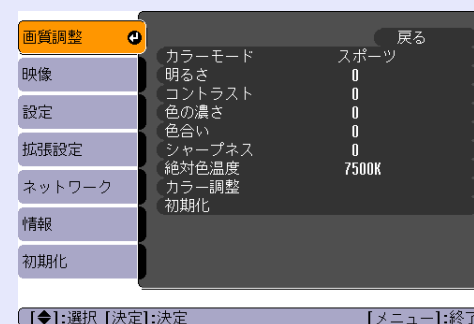
画質調整メニュー

現在投写している映像信号により設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

コンピュータ映像/EasyMP (EB-G5350のみ)



コンポーネントビデオ▶/コンポジットビデオ▶/S-ビデオ▶

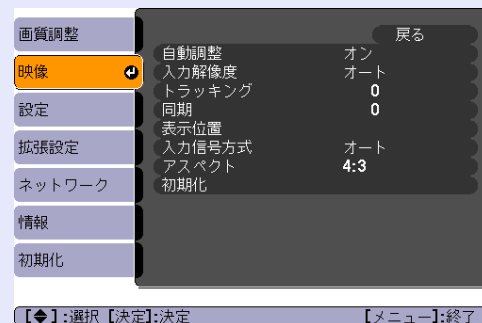


サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 p. 20
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト▶	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポジットビデオ/S-ビデオの場合は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
絶対色温度	(「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB▶」に設定していると、本項目は選択できません。) 映像全体の色合いを調整します。5000K～10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。
カラー調整	以下のどちらかを選んで調整できます。(「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「sRGB▶」に設定していると、本項目は選択できません。) 赤、緑、青: 各色の強さを個別に調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「カスタム」に設定していると、本項目は表示されません。) R、G、B、C、M、Y: R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンダ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。 (「画質調整」→「カラーモード」の調整値を「カスタム」に設定しているときだけ、本項目は表示されます。)
初期化	「画質調整」メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは p. 63

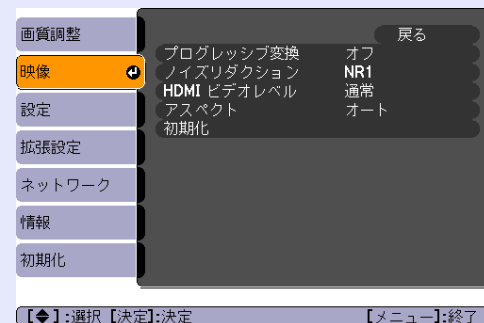
映像メニュー

現在投写している映像信号により設定できる項目が以下の画面図のとおり異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。入力ソースがEasyMPになっているときは「映像」メニューの設定は行えません。(EB-G5350のみ)

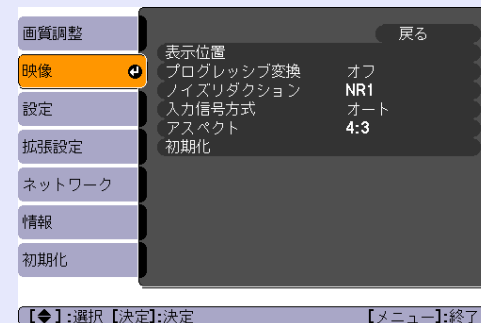
コンピュータ映像



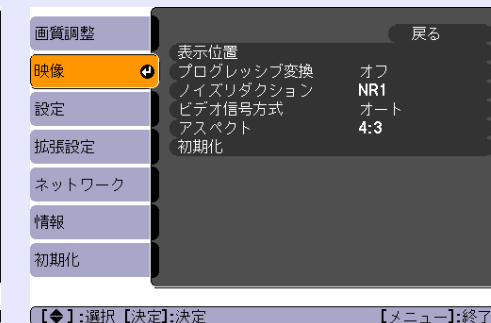
HDMI入力端子からの映像信号






コンポーネントビデオ



コンポジットビデオ/S-ビデオ



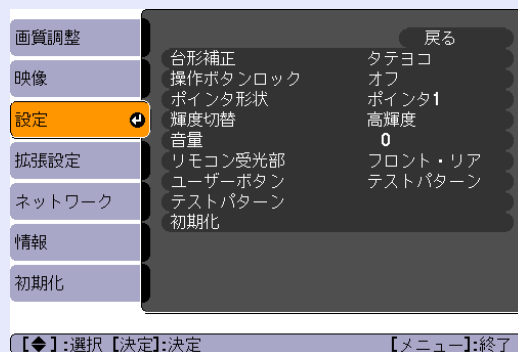
サブメニュー	機能
自動調整	入力信号が切り替わったときに、映像を最適な状態に自動調整する(オン)/しない(オフ)を設定します。  p. 72
入力解像度	「オート」にしていると、入力信号の解像度を自動で判別します。「オート」に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピュータに合わせてワイド画面は「ワイド」に、4:3や5:4画面は「ノーマル」に設定してください。接続するコンピュータが固定のときは「マニュアル」を選択し特定の入力解像度に設定することもできます。
トラッキング	映像に縦の縞模様が出るときに調整します。  p. 72
同期	映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。  p. 72
表示位置	映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。
プログレッシブ変換	(HDMI入力端子からの映像信号(デジタルRGBを除く)と、コンポーネントビデオの場合は、480i/576i/1080i信号入力時のみ設定可能) オフ : IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 ビデオ : 一般のビデオ映像に適しています。 フィルム/オート : 2-3プルダウンを行うことにより、映画フィルムやCG、アニメーション映像などの24/30フレームで記録された映像を最適なプログレッシブ信号に自動変換することで、映像が本来持っている自然な質感を再現します。
ノイズリダクション	(デジタルRGB信号入力時は設定不可) 映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは「オフ」に設定してご覧ください。









サブメニュー	機能
HDMI ビデオレベル	(デジタルRGB信号入力時は設定不可) 本機のHDMI入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
入力信号方式	コンピュータ1/2とBNC入力端子からの入力信号を選択します。 「オート」にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 「オート」に設定していて、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	ビデオ1/2入力端子からの入力信号を選択します。「オート」にすると、ビデオ信号を自動認識します。「オート」に設定していて、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
アスペクト	映像の アスペクト比 ▶を設定します。👉 p. 22
初期化	「映像」メニューのうち、「入力信号方式」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは 👉 p. 63




設定メニュー



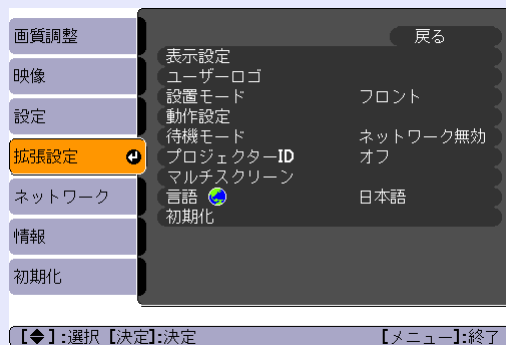
サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を補正します。 タテヨコ :縦・横方向のゆがみ補正を行います。「タテ補正」・「ヨコ補正」から選択します。 「タテ補正」、「ヨコ補正」は操作パネルの[凸/▲][凹/▼][↶/◀][↷/▶]ボタンで補正すると同様の補正ができます。 Quick Corner :投写映像の4つの角を選んで補正します。  p. 16
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  p. 35
ポインタ形状	ポインタの形状を選択します。  p. 26 ポインタ1 :  ポインタ2 :  ポインタ3 : 
輝度切替	ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力:約14%減、ランプ寿命:約1.5倍
音量	音量を調整します。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。
リモコン受光部	リモコンからの操作信号の受信を制限します。 リモコンでの操作を禁止したいときやリモコン受光部の近くに蛍光灯が設置されていて、その影響でリモコンが誤動作してしまうときに影響を受けている受光部を使わないように設定できます。






サブメニュー	機能
ユーザーボタン	リモコンの[ユーザー]ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。[ユーザー]ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。[ユーザー]ボタンに割り当てることのできるのは以下の6項目です。 輝度切替、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、マルチスクリーン、入力解像度
テストパターン	本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、台形補正が行えます。 テストパターンの表示を解除するときは、リモコンまたは操作パネルの[戻る]ボタンを押します。
初期化	「設定」メニューのうち「ユーザーボタン」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p. 63



拡張設定メニュー



サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>メッセージ表示:入力ソースを切り替えたときの入力ソース名、カラーモードを切り替えたときのカラーモード名、映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示を画面に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。</p> <p>背景表示※:映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。</p> <p>スタートアップスクリーン※:スタートアップスクリーン(投写開始時に投写される映像)を起動時に表示する(オン)/しない(オフ)を設定します。</p> <p>A/Vミュート※:A/Vミュート時に表示する画面を「黒」、「青」、「ロゴ」のいずれかで設定します。</p>
ユーザーロゴ※	背景表示、A/Vミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。  p. 92
設定モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。  p. 78</p> <p>「フロント」「フロント・天吊り」「リア」「リア・天吊り」</p> <p>リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。</p> <p>「フロント」↔「フロント・天吊り」</p> <p>「リア」↔「リア・天吊り」</p>

※ 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから設定を変更してください。  p. 33



サブメニュー	機能
動作設定	<p>ダイレクトパワーオン:ダイレクトパワーオンさせる(オン)/させない(オフ)を設定します。 「オン」に設定しているときは、停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>スリープモード:「オン」に設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。</p> <p>スリープモード時間:スリープモードを「オン」にしたときに自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲を1分単位で設定します。</p> <p>高地モード:標高約1500m以上でお使いの場合は「オン」にします。</p> <p>BNC同期終端:BNC入力端子からの信号の終端処理を設定します。通常は「オフ」で使用します。スイッチャなど、アナログ(75Ω)終端が必要なときは「オン」に設定します。</p>
待機モード	<p>本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視・制御機能を働かせるときは、「ネットワーク有効」に設定します。ネットワーク経由で本機の状態を監視・制御するにはSNMP[▶]を使うか、あるいは本製品に添付のアプリケーションソフト「EMP Monitor」を使用して行います。</p>
プロジェクターID	<p>「1」～「9」までのIDを設定します。「オフ」はIDを設定していない状態です。👉 p. 29</p>
マルチスクリーン	<p>プロジェクター複数台を並べて投写した際の各映像の色合いや明るさの差を補正できます。👉 p. 31</p> <p>調整レベル:黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、この5レベルすべてに対して「明るさ補正」と「色補正」を行います。</p> <p>明るさ補正:製品ごとの明るさのばらつきを補正します。</p> <p>色補正(緑-赤)/色補正(青-黄):製品ごとの色のばらつきを補正します。</p>
言語	<p>メッセージやメニューに表示する言語を設定します。</p>
初期化	<p>「拡張設定」メニューのうち、「表示設定^{※1}」、「動作設定^{※2}」の調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは 👉 p. 63</p>

※1 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから設定を変更してください。👉 p. 33

※2 「高地モード」は除く。





ネットワークメニュー(EB-G5200W/G5100のみ)

「パスワードプロテクト」で「ネットワーク保護」を「オン」に設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。「ネットワーク保護」を「オフ」にしてから操作してください。☞ p. 33



サブメニュー	機能
有線LAN	<p>ネットワークの設定を行います。</p> <p>DHCP:DHCPを使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここで「オン」に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>IPアドレス:本機に割り当てるIPアドレスを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、0.x.x.x、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>サブネットマスク:本機のサブネットマスクを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>ゲートウェイアドレス:本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。※1 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255(xは0～255の数字)</p> <p>MACアドレス:本機のMACアドレスを表示します。</p>
PJLinkパスワード	<p>PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを入力します。※1 ☞ p. 111 半角英数字で最大32文字まで入力できます。</p>
Web制御パスワード	<p>Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを入力します。※1 半角英数字で最大8文字まで入力できます。 Web制御は、EMP Monitorを起動しているコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータから本機を設定・制御する機能です。☞ 『EMP Monitor操作ガイド』</p>



サブメニュー	機能
SNMP ▶▶	SNMPの設定を行います。 トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2 :SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。*1 SNMPを使ってプロジェクトを監視するには、コンピュータ側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワークに詳しい人が行ってください。
メール	本機が異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。送付されるメールの内容については「付録 異常通知メールの見方」  p. 107 メール通知機能 :メール通知を行う(オン)/行わない(オフ)を選択します。ここで「オフ」に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。 SMTPサーバ :本機が使うSMTPサーバのIPアドレスを入力します。*1 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127. x. x. x, 224. 0. 0. 0~255. 255. 255. 255 (xは0~255の数字) ポート番号 :SMTPサーバのポート番号を表示します。 初期値は25です。Web制御から設定変更しているときは、ポート番号を1~65535までの有効な数値を入力して変更できます。 宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定 :通知メールの送信先のメールアドレスの入力*1と通知する異常/警告の内容を設定します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大32文字まで入力できます。
AMX Device Discovery ▶▶	本機をネットワークに接続しているとき、AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときは「オン」に設定します。AMX社のコントローラやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、「オフ」に設定してください。
プロジェクト名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。
初期化	「ネットワーク」メニューのすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは  p. 63

※1 数値やパスワード入力の際は次のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの[⊙]ボタンを傾けて目的のキーにカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。

このキーを選択し決定するときにアルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。

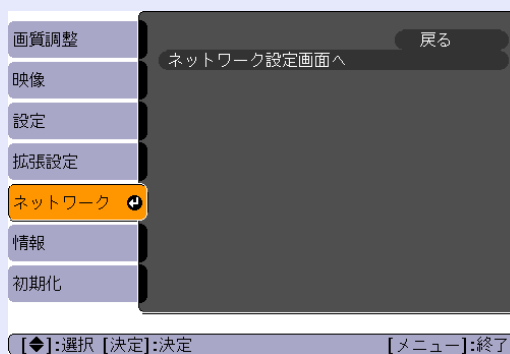


このキーを選択し決定するときに枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。



ネットワークメニュー(EB-G5350のみ)

「パスワードプロテクト」で「ネットワーク保護」を「オン」に設定していると、メッセージが表示され設定を変更することはできません。「ネットワーク保護」を「オフ」にしてから操作してください。☞ p. 33



サブメニュー	機能
ネットワーク設定画面へ	以下の項目についてネットワークの設定を行います。 「基本設定メニュー」、「無線LANメニュー」、「セキュリティメニュー」、「有線LANメニュー」、「メール通知メニュー」、「その他メニュー」、「初期化メニュー」、「設定完了メニュー」

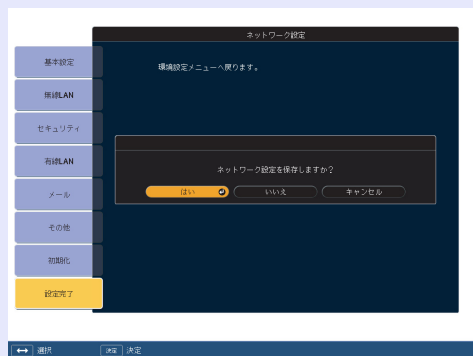


本機とネットワーク接続したコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータから本機の設定や制御が行えます。この機能を「Web制御」と呼びます。「Web制御」はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。

☞ 『EasyMP活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」

■ ネットワークメニュー操作上のご注意

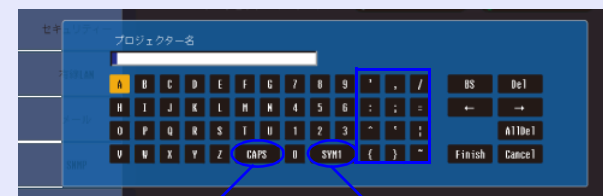
トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。ただし、終了する際には必ず「設定完了メニュー」を選択して、「はい」、「いいえ」、「キャンセル」のいずれかを選択します。「はい」あるいは「いいえ」を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



- はい:** 設定を保存してネットワークメニューを終了します。
- いいえ:** 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。
- キャンセル:** ネットワークメニューを続けます。

■ ソフトキーボードの操作

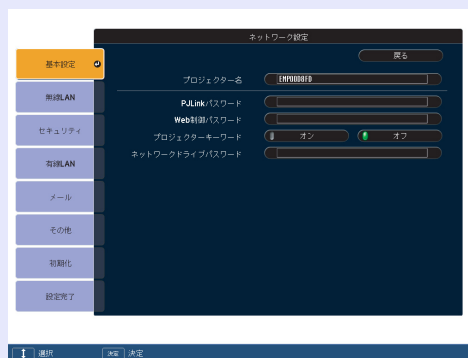
ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの[⊙]ボタンまたは本体の[△/▲]、[▽/▼]、[◀/◂]、[▶/▸]、で目的のキーにカーソルを移動し、[決定]ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの[数字]ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの[Finish]を選択すると入力が確定します。キーボードの[Cancel]を選択すると入力は取り消されます。



このキーを選択し決定するたびにアルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。

このキーを選択し決定するたびに枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。


■ 基本設定メニュー



サブメニュー	機能
プロジェクター名	ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。初期値は「EBxxxxxx」(xxxxxxはMACアドレスの下6桁)です。変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。
PJLinkパスワード	PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。☛ p. 111 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
Web制御パスワード	Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で最大8文字まで入力できます。Web制御はネットワークで接続しているコンピュータのWebブラウザを利用して、コンピュータから本機を設定・制御する機能です。☛ 『EasyMP活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」
プロジェクターキーワード	「ON」に設定していると、本機とコンピュータをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより予定外のコンピュータからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。通常は「ON」に設定してお使いください。☛ 『EasyMP活用ガイド』「ネットワーク上のプロジェクターに接続して投写する」
ネットワークドライブパスワード	本機にセットしたSDカードに第三者が許可なくファイルを上書きしたり、消去してしまうことを防止するため、のパスワードを設定できます。半角英数字で、最大16文字まで入力できます。☛ 『EasyMP活用ガイド』「ネットワークからSDカードにファイルのコピーや削除をする」

■ 無線LANメニュー(オプション品の無線LANユニット装着時のみ)



サブメニュー	機能
接続モード	EMP NS Connectionで本機とコンピュータを接続するときに、いつも決まった接続モードで接続する場合に設定します。
WPSによる設定	WPS(Wi-Fi Protected Setup)対応の無線LANアクセスポイントを経由してネットワークに参加するとき、本機とアクセスポイント間の接続とセキュリティの設定を簡単に行うことができます。  p. 94
アンテナレベル	無線LANの電波強度を表示しています。
無線LAN方式	無線LAN方式を設定します。
<u>SSID</u> ▶▶	SSIDを入力します。本機が参加する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを入力します。初期値はEPSONです。 半角英数字で最大32文字まで入力できます。
<u>DHCP</u> ▶▶	DHCPを使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここで「オン」に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
<u>IPアドレス</u> ▶▶	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)
<u>サブネットマスク</u> ▶▶	本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
<u>ゲートウェイアドレス</u> ▶▶	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)



サブメニュー	機能
MACアドレス	MACアドレスを表示しています。
SSID表示	EasyMP待機画面上にSSIDを表示させないときは、「オフ」に設定します。
IPアドレス表示	EasyMP待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、「オフ」に設定します。



■ セキュリティメニュー(オプション品の無線LANユニット装着時に有効)



サブメニュー	機能
セキュリティ	セキュリティの種類を表示される項目から選択します。 セキュリティの設定は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従ってください。

セキュリティの種類

オプション品の無線LANユニットを装着してマニュアルモードでお使いの際は、必ずセキュリティの設定を行うことをお奨めします。次のセキュリティ設定の中から1つ選択できます。

- WEP
暗号キー (WEPキー) を使ってデータの暗号化を行います。
アクセスポイントとプロジェクター間で、暗号キーが一致しないと通信できない仕組みです。
- WPA/WPA2
WEPの弱点を補強しセキュリティ強度を向上させた暗号化規格です。WPAには数種類の暗号化方式がありますが、本機では「TKIP▶」を使用します。TKIPはPSK(Pre-Shared Key)を使い一定間隔で自動的に暗号キーを更新するので、暗号キーが固定値であるWEPに比べて暗号が解読されにくくなっています。
WPAは、ユーザー認証機能も備えています。WPAの認証方式には、認証サーバを使う方法と、認証サーバは使わずコンピュータとアクセスポイントの間で認証を行う方法があります。本機は、認証サーバを使わない認証方法に対応しています。
- EAP
EAPは、クライアント-認証サーバ間のやりとりに用いられるプロトコルです。ユーザー認証に電子証明書を用いるEAP-TLS、ユーザー IDとパスワードを用いるLEAP、EAP-TTLSなどがあります。



方式	認証
EAP-TLS	電子証明書、CA証明書
EAP-TTLS	ユーザーID、パスワード
PEAP/MS-CHAPv2	ユーザーID、パスワード
PEAP/EAP-GTC	ユーザーID、パスワード
LEAP	ユーザーID、パスワード



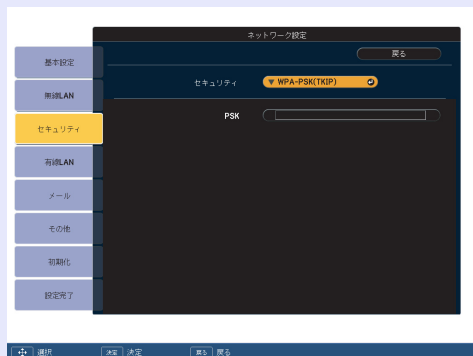
- 各設定の作業は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従って行ってください。
- EAP を使用する場合、認証サーバに合わせた設定をプロジェクターで行う必要があります。RADIUS サーバの設定については、ネットワークシステムの管理者にご確認ください。
- 電子証明書、CA 証明書をプロジェクターに登録します。プロジェクターに登録できる電子証明書および CA 証明書は 1 つだけです。この証明書は EAP-TLSで使用します。





■ WEP選択時

サブメニュー	機能
WEP暗号	WEP暗号化の暗号方式を設定します。 128bit:128(104)bit暗号化を使用します。 64bit:64(40)bit暗号化を使用します。
入力方式	WEP暗号キーの入力方式を設定します。 ASCII:テキストで入力します。 HEX:HEX(16進)で入力します。
キーID	WEP暗号IDキーを選択します。
暗号キー1/暗号キー2/暗号キー3/暗号キー4	WEP暗号に使用するキーを入力します。プロジェクターが参加するネットワークの管理者の指示に従って、キーを半角文字で入力します。「WEP暗号」と「入力方式」の設定により、入力できる文字種・数が異なります。 下記でそれぞれ規制している文字数に満たなかったとき、あるいは文字数を超える部分は暗号化されません。 「128bit」-「ASCII」の場合:半角英数字、13文字 「64bit」-「ASCII」の場合:半角英数字、5文字 「128bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、26文字 「64bit」-「HEX」の場合:0~9とA~F、10文字



■ WPA-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)選択時

サブメニュー	機能
PSK(暗号キー)	PreSharedKey(暗号キー)を半角英数字で入力します。8文字以上、最大63文字まで入力できます。PreSharedKeyを入力し、[決定]ボタンで確定すると、設定値はアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 👉 『EasyMP活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」

■ EAP-TLS選択時

サブメニュー	機能
発行先/発行者/有効期間	証明書の情報が表示されます。入力是不可能です。

■ EAP-TTLS/MD5、EAP-TTLS/MS-CHAPv2、PEAP/MS-CHAPv2、PEAP/GTC、LEAP、EAP-Fast/MS-CHAPv2、EAP-FAST/GTC選択時


サブメニュー	機能
ユーザー名	認証に使用するユーザー名を半角英数字で入力します(スペースは使用できません)。最大64文字まで入力できます。環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 👉 『EasyMP活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」
パスワード	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します。最大64文字まで入力できます。パスワードを入力し、[決定]ボタンで確定すると、パスワードはアスタリスク(*)で表示されます。 環境設定メニューでは32文字を超える入力是不可能です。32文字を超える設定をしたいときはWeb制御から入力します。 👉 『EasyMP活用ガイド』「Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)」

■ 有線LANメニュー



サブメニュー	機能
<u>DHCP</u> ▶▶	DHCPを使用する(オン)/しない(オフ)を設定します。 ここで「オン」に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。
<u>IPアドレス</u> ▶▶	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127. x. x. x、224. 0. 0. 0～255. 255. 255. 255 (xは0～255の数字)
<u>サブネットマスク</u> ▶▶	本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
<u>ゲートウェイアドレス</u> ▶▶	本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127. x. x. x、224. 0. 0. 0～255. 255. 255. 255 (xは0～255の数字)
MACアドレス	MACアドレスを表示しています。
IPアドレス表示	EasyMP待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、「オフ」に設定します。

■ メールメニュー

プロジェクトが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。送付されるメールの内容については「付録 異常通知メールの見方」 p. 107



サブメニュー	機能
メール通知機能	メール通知を行う(オン)/行わない(オフ)を選択します。
SMTPサーバ	本機が使うSMTPサーバのIPアドレス▶を入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127. x. x. x, 224. 0. 0. 0～255. 255. 255. 255 (xは0～255の数字)
ポート番号	SMTPサーバのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
メールアドレス1/ メールアドレス2/ メールアドレス3	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大32文字まで入力できます。
通知イベントの 指定	メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、「宛先メールアドレス」で指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。

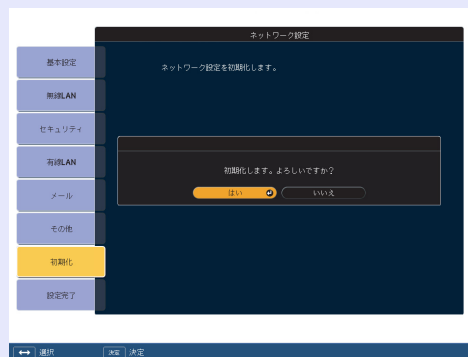
■ その他メニュー



サブメニュー	機能
<u>SNMP</u> <u>トラップIP</u> <u>アドレス</u> ▶1/ <u>SNMP</u> <u>トラップIP</u> <u>アドレス</u> 2	<p><u>SNMP</u>▶のトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。</p> <p>127. x. x. x, 224. 0. 0. 0～255. 255. 255. 255 (xは0～255の数字)</p> <p><u>SNMP</u>を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュータ側に<u>SNMP</u>マネージャプログラムがインストールされている必要があります。<u>SNMP</u>による管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。</p>
<u>ゲートウェイ</u> <u>設定</u>	優先ゲートウェイを無線/有線どちらにするか選択します。
<u>AMX Device</u> <u>Discovery</u> ▶	本機をネットワークに接続しているとき、 <u>AMX Device Discovery</u> による本機の検出を有効にしたいときは「オン」に設定します。 <u>AMX</u> 社のコントローラや <u>AMX Device Discovery</u> で制御する環境に接続していないときは、「オフ」に設定してください。

■ 初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。



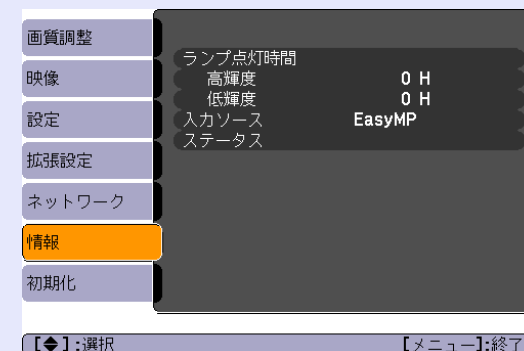
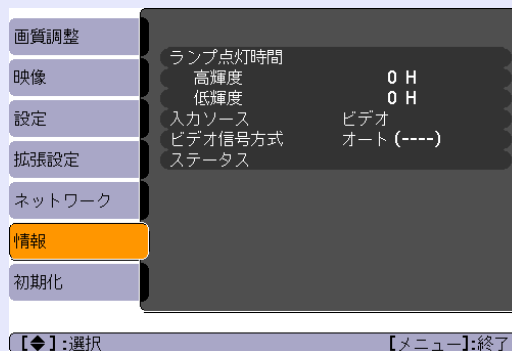
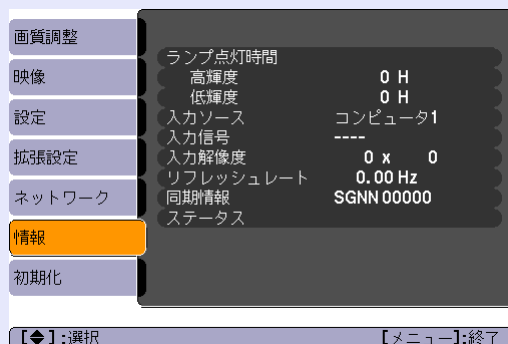
サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは「はい」を選択します。 初期化した後は、「基本設定メニュー」に移行します。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している映像信号により表示される項目が以下の画面図のとおり異なります。

コンピュータ映像/コンポーネントビデオ▶/ コンポジットビデオ▶/S-ビデオ▶
HDMI入力端子からの映像信号

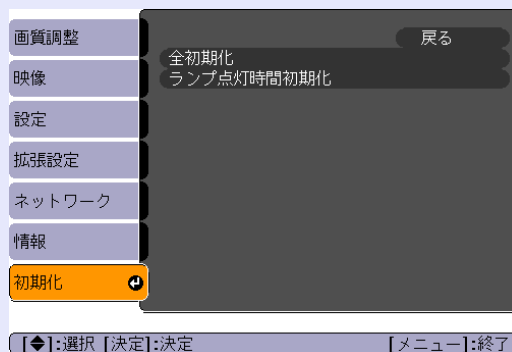
EasyMP (EB-G5350のみ)



サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間*を表示しています。 ランプ寿命警告時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力端子名を表示しています。
入力信号	「映像」メニューの「入力信号方式」の設定内容を「入力ソース」に応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	「映像」メニューの「ビデオ信号方式」の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート▶	リフレッシュレートを表示しています。
同期▶情報	映像信号の情報を表示しています。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。 お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

* 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 「入力信号方式」、「ユーザーロゴ」、「マルチスクリーン」、「ネットワーク」メニューの全項目、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアし、「0H」に戻します。ランプを交換したときに行ってください。



困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方.....	65
故障かなと思ったら.....	66
•インジケータの見方.....	66
○インジケータが赤色点灯時.....	67
⦿・●インジケータがオレンジ点滅/点灯時.....	68
•インジケータを見てもわからないとき.....	69
映像に関するトラブル.....	70
投写開始時のトラブル.....	74
その他のトラブル.....	75

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

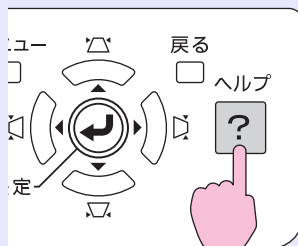
操作

- 1 [ヘルプ]ボタンを押します。
ヘルプ画面が表示されます。

リモコンの場合



操作パネルの場合



- 2 項目を選択します。

【ヘルプ】

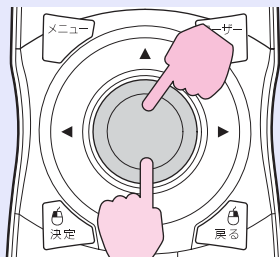
映像が小さい。 ?

映像が台形に投写される。
色合いがおかしい。
音が出ない・小さい。

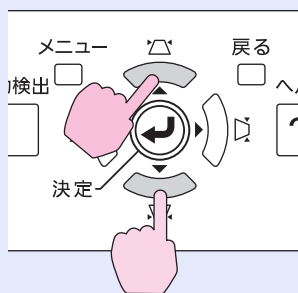
【◀▶】:選択 【決定】:決定

【ヘルプ】:終了

リモコンの場合

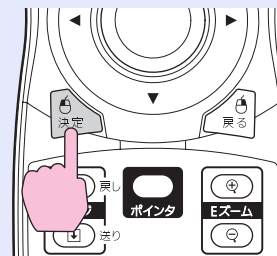


操作パネルの場合



- 3 項目を決定します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。
【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。

映像が小さい。

- ? スームが最小になっていませんか?
・ズームリングで映像の大きさを変更してください。
- ? プロジェクターがスクリーンに近すぎませんか?
・プロジェクターをスクリーンから離してください。

【戻る】:戻る

【ヘルプ】:終了

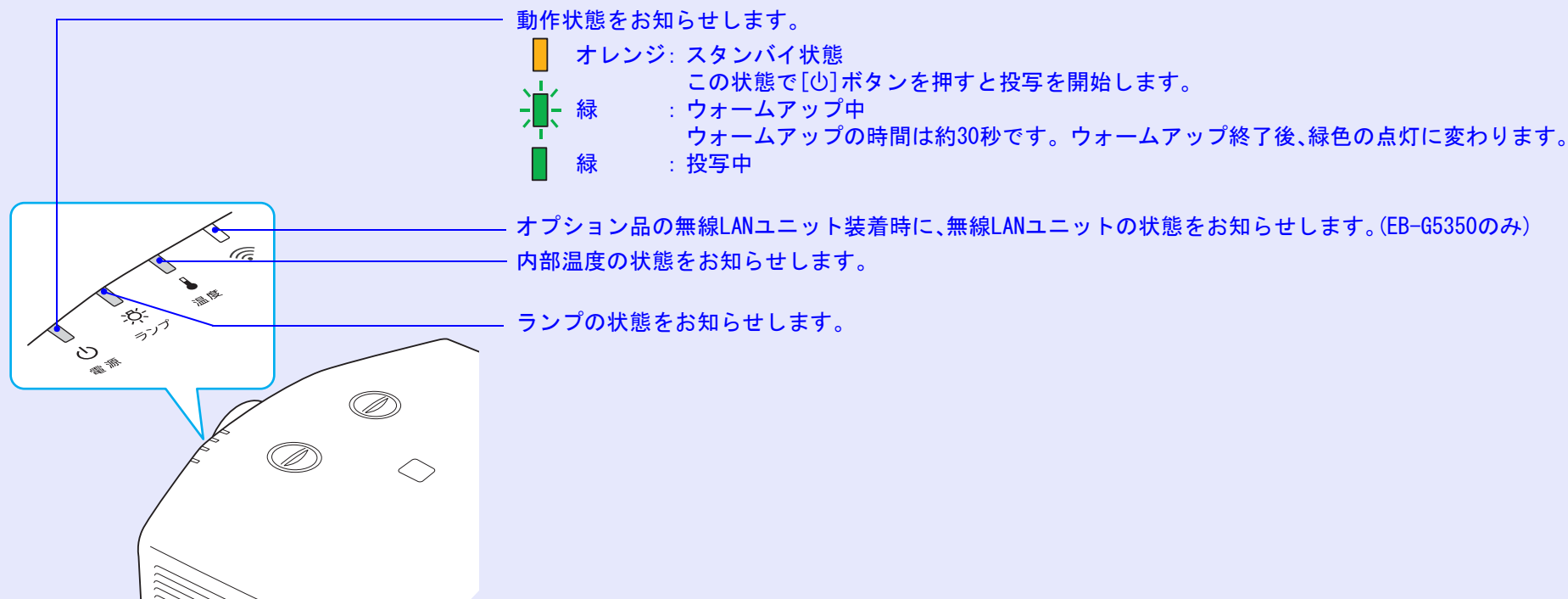


ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☞ p.66)をご覧ください。

故障かな？と思ったら、まず本機のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を確認してください。👉 p.69

インジケータの見方












本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態をお知らせします。



インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。







インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。電源ケーブルを抜いても⏻インジケータがしばらく点灯したままになることがありますますが故障ではありません。

■
⏻ インジケータが赤色点灯時 異常
■ :点灯 ■ ⚡ :点滅 :消灯

状態	原因	処置または状態
赤 ■ ⏻ 赤 ■ ⚡ ⚡ 赤 ■ ⚡ ⚡	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。  p. 128
赤 ■ ⏻ 赤 ⚡ 赤 ■ ⚡ ⚡	ファン異常 センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。  p. 128
赤 ■ ⏻ 赤 ⚡ 赤 ■ ⚡ ⚡	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● エアークフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 ● エアークフィルタが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。  p. 80, 87 <p>上記を確認後もエラーになるときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。  p. 128</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、「高地モード」を「オン」にしてください。  p. 46</p>
赤 ■ ⏻ 赤 ■ ⚡ ⚡ ⚡	ランプ異常 ランプ点灯失敗 ランプカバー開放 状態	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。  p. 84 ● エアークフィルタを掃除します。  p. 80 <p>割れていないとき → ランプを再セットして、電源を入れます。 それでもエラーになるとき → 新しいランプに交換してから電源を入れます。 それでもエラーになるとき → ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。  p. 128</p> <p>割れているとき → お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。  p. 128</p> <p>ランプカバーやランプが確実に取り付けられているか確認してください。  p. 84 ランプカバーとランプの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、「高地モード」を「オン」にしてください。  p. 46</p>

■ 点滅・点灯インジケータがオレンジ点滅/点灯時 **警告**

■ :点灯 ■ :点滅 □ :消灯 □ :本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
<p>赤 オレンジ</p>    <p>⏻ ⚡ 🔌</p>	高温警告	<p>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアークフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 • エアークフィルタが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。👉 p. 80, 87
<p>オレンジ</p>    <p>⏻ ⚡ 🔌</p>	ランプ交換勧告	<p>新しいランプに交換してください。👉 p. 84</p> <p>交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。</p>



- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、「インジケータを見てもわからないとき」(👉 p.69)をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。👉 p.128

インジケータを見てもわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

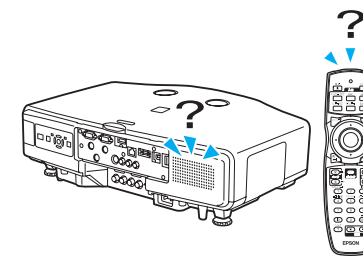
- 映像が表示されない [☞ p.70](#)
投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 動画が表示されない [☞ p.70](#)
コンピュータで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 自動的に投写が消える [☞ p.70](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される [☞ p.71](#)
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される [☞ p.71](#)
- ぼやける、ピントが合わない [☞ p.71](#)
- ノイズが入る、乱れる [☞ p.72](#)
ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない [☞ p.72](#)
映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくないなど...
- 色合いが違う [☞ p.73](#)
全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
(コンピュータのモニターや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニターでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い [☞ p.74](#)
- 外部モニターに表示されない [☞ p.74](#)

投写開始時のトラブル

- 電源が入らない [☞ p.74](#)

その他のトラブル

- 音が出ない・小さすぎる [☞ p.75](#)
- リモコンで操作できない [☞ p.75](#)
- メッセージやメニューの言語を変更したい [☞ p.76](#)
- プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない [☞ p.76](#)



■ 映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[⏻] ボタンを押しましたか？	[⏻] ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。本機に電源ケーブルを正しく接続してください。☛ 『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p. 21
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛ 「初期化」→「全初期化」 p. 63
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 42

■ 動画が表示されない

確認	対処法
コンピュータ映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号を外部のみの出力に切り替えます。☛ コンピュータに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「オン」にしていませんか？	[⏻] ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。☛ 「拡張設定」→「動作設定」→「スリープモード」 p. 46

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛ 「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 42
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などをご確認ください。☛ 「対応解像度一覧」 p. 112

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド』
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンか操作パネルの[入力検出]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p. 18
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。☛ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn](ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛ 『セットアップガイド』

■ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングでピントを合わせます。☛ 『セットアップガイド』
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。☛ p. 98



確認	対処法
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛『セットアップガイド』
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 42
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛『セットアップガイド』
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」 p. 112 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など
「同期」・「トラッキング」は正しく調整されていますか？ コンピュータ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。☛「映像」→「トラッキング」、「同期」 p. 41

■ 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない

確認	対処法
ワイドパネルのコンピュータ映像を投写していますか？ コンピュータ投写時のみ	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。☛「映像」→「入力解像度」 p. 41
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの[戻る]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛ p. 27



確認	対処法
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータ映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータ映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☛ 「映像」→「表示位置」 p. 41
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピュータ画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピュータ画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。☛ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p. 112 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 コンピュータ1/2入力端子、BNC入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 「映像」→「入力信号方式」 p. 42 ビデオ1/2、S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ 「映像」→「ビデオ信号方式」 p. 42
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。☛ 「画質調整」→「明るさ」 p. 40
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ 『セットアップガイド』
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛ 「画質調整」→「コントラスト」 p. 40
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。☛ 「画質調整」→「カラー調整」 p. 40
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。☛ 「画質調整」→「色の濃さ」、「色合い」 p. 40



■ 暗い

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛ 「画質調整」→「明るさ」 p. 40 ☛ 「設定」→「輝度切替」 p. 43
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。 ☛ 「画質調整」→「コントラスト」 p. 40
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。☛ p. 84

■ 外部モニタに表示されない

確認	対処法
コンピュータ1/2入力端子、BNC入力端子以外から入力している映像を表示させようとしていませんか？	外部モニタに表示できる映像はコンピュータ1/2入力端子、BNC入力端子からのコンピュータ映像信号のみです。☛ p. 100

■ 投写開始時のトラブル

■ 電源が入らない

確認	対処法
[⏻] ボタンを押しましたか？	[⏻] ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。電源ケーブルを抜いて差し直してください。☛ 『セットアップガイド』 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源ケーブルを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？	電源ケーブルが接触不良を起こしているか、電源ケーブルが故障している可能性があります。電源ケーブルを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先にご相談ください。☛ p. 128
「操作ボタンロック」が「全ロック」になっていませんか？	リモコンの[⏻] ボタンを押します。「操作ボタンロック」を働かせないときは設定を「オフ」にしてください。☛ 「設定」 → 「操作ボタンロック」 p. 35



確認	対処法
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの「リモコン受光部」の設定を確認してください。☛ 「設定」→「リモコン受光部」 p. 43
ダイレクトパワーオフをした直後に電源ケーブルのプラグを挿し直したかブレーカーをオンにしていませんか？	「ダイレクトパワーオン」を「オン」に設定しているときに左記の操作をすると電源が入らないことがあります。[⏻]ボタンを押すと電源が入ります。

■ その他のトラブル

■ 音が出ない・小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。☛ p. 43, ☛ 『セットアップガイド』
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p. 21
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。

■ リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲 ☛ 『セットアップガイド』
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約15mです。☛ 『セットアップガイド』
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの「リモコン受光部」で光の影響を受けている方の受光部を「オフ」にしてください。☛ 「設定」→「リモコン受光部」 p. 43
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの「リモコン受光部」の設定を確認してください。☛ 「設定」→「リモコン受光部」 p. 43



確認	対処法
リモコンIDはプロジェクターIDと一致していますか？	操作したいプロジェクターのIDとリモコンのIDを一致させてください。IDの設定に関わらずすべてのプロジェクターをリモコンで操作できるようにするには、リモコン側面のIDスイッチをOffにします。☛ p. 28
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p. 83
リモコン、または本機のリモート端子にオプションのリモコンケーブルを接続していませんか？	リモコンケーブルが差し込まれているとリモコン発光部や本機のリモコン受光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをリモコンやリモート端子から取り外してください。

■ メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
「言語」の設定を変更します。	環境設定メニューの「言語」で設定を変更してください。☛ p. 46

■ プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定します。☛ 「拡張設定」→「待機モード」 p. 46
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。プロジェクターを確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛ p. 128
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
LANケーブルが正しく接続されていますか？	LANケーブルが正しく接続されているか確認します。接続されていなかったり間違えて接続されているときは、接続し直します。☛ p. 106
環境設定メニューで「メール通知」が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの「メール」の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 EB-G5350をお使いの場合 ☛ 「ネットワークメニュー」→「メールメニュー」 p. 59 EB-G5200W/G5100をお使いの場合 ☛ p. 47





付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

いろいろな設置方法	79	輸送時のご注意	91
各部の掃除	80	• 近くへの移動	91
• 本機の掃除	80	• 輸送する場合	91
• レンズの掃除	80	梱包の準備	91
• エアーフィルタの掃除	80	梱包と輸送の注意	91
消耗品の交換方法	83	ユーザーロゴの登録	92
• リモコンの電池の交換方法	83	WPS(Wi-Fi Protected Setup)で無線LAN	
• ランプの交換	84	アクセスポイントに接続する(EB-G5350のみ)	94
ランプの交換時期	84	• 接続設定の方法	94
ランプの交換方法	84	プッシュボタン方式で接続する	95
ランプ点灯時間の初期化	86	PINコード方式で接続する	96
• エアーフィルタの交換	87	スクリーンサイズと投写距離	98
エアーフィルタの交換時期	87	• EB-G5350/G5100の投写距離	98
エアーフィルタの交換方法	87	• EB-G5200Wの投写距離	99
オプション・消耗品一覧	89	外部機器との接続	100
オプション品	89	• 外部モニターとの接続	100
消耗品	90	• 外部スピーカーとの接続	100





投写レンズユニットの取り外しと取り付け	101	PJLinkについて	111
•取り外し方	101	対応解像度一覧	112
•取り付け方	101	•EB-G5350/G5100の対応解像度	112
USB機器の接続と取り外し(EB-G5350のみ)	103	コンピュータ映像(アナログRGB)	112
•USB機器の接続	103	コンポーネントビデオ	113
•USBインジケータの見方	103	コンポジットビデオ/S-ビデオ	113
•USB機器の取り外し方	103	HDMI入力端子からの入力信号	114
カードのセットと取り出し(EB-G5350のみ)	104	•EB-G5200Wの対応解像度	115
•セット方法	104	コンピュータ映像(アナログRGB)	115
•SDカードアクセスランプの見方	104	コンポーネントビデオ	116
•取り出し方	105	コンポジットビデオ/S-ビデオ	116
LANケーブルの接続	106	HDMI入力端子からの入力信号	117
異常通知メールの見方	107	仕様一覧	118
ESC/VP21コマンド	108	•本機仕様	118
•コマンドリスト	108	•同梱ソフトウェアの動作条件	120
•ケーブル配線	109	外形寸法図	121
シリアル接続	109	用語解説	122
通信プロトコル	109	索引	124
ネットワークプロジェクタについて		お問い合わせ先	128
(EB-G5350のみ)	110		



本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

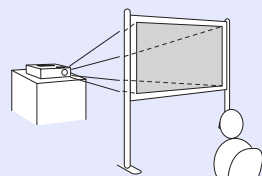
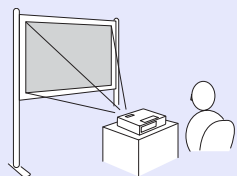
⚠ 警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

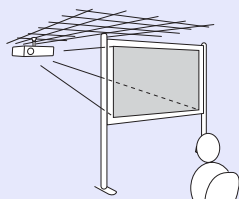
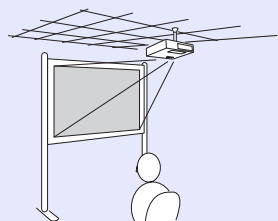
注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

- 正面から投写する(フロント投写)
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)



- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
☞ p.89
- リモコンの[A/Vミュート]ボタンを約5秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。
「フロント」↔「フロント・天吊り」
「リア」、「リア・天吊り」に設定するには環境設定メニューで行います。☞ p.45

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアフィルタの掃除

下記のメッセージが表示されたらエアフィルタや吸気口の掃除をしてください。
「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルタの掃除、または交換をしてください。」

注意

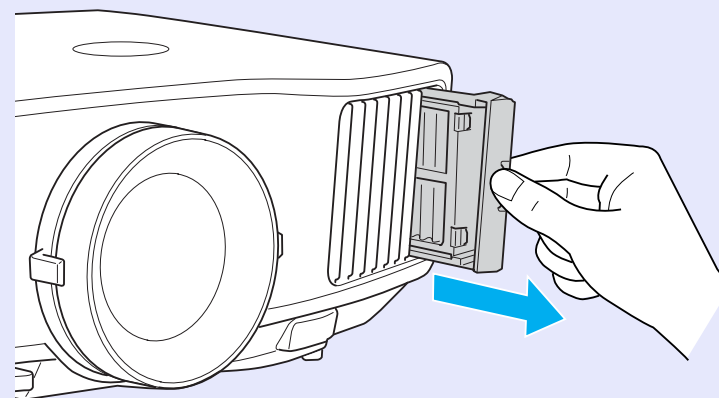
- エアフィルタにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルタを掃除してください。
- エアフィルタは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- 掃除にブラシを使用するときは、毛先の長い柔らかいものを使用し、軽くなでるように掃除をしてください。強くこするとホコリがエアフィルタ内部に入ってしまう取れなくなります。

操作

1

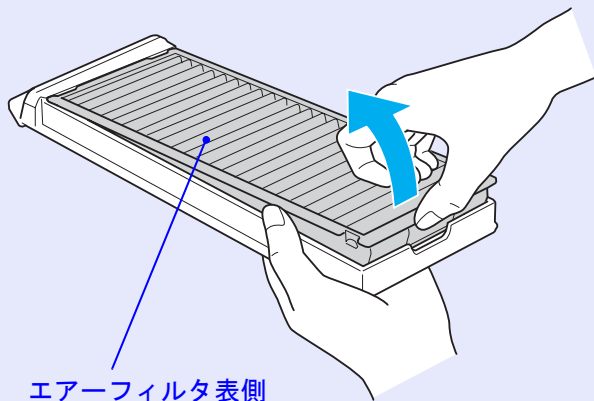
エアフィルタカバーを取り出します。

エアフィルタカバーのタブに指をかけてまっすぐに引き出します。

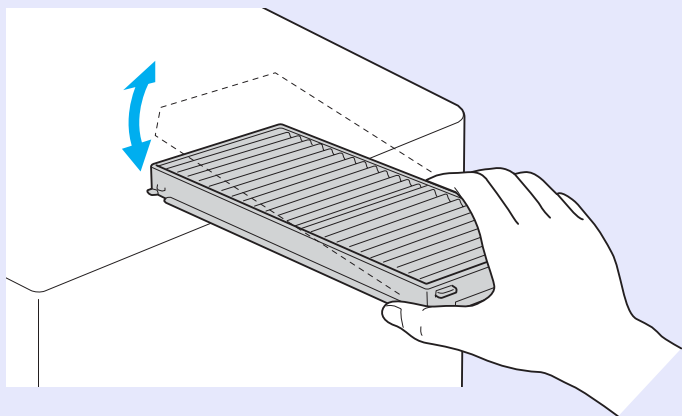


2 エアークフィルタを取り外します。

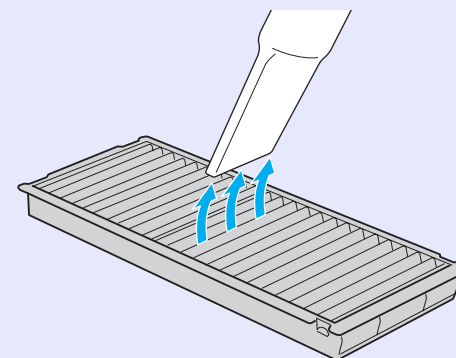
下図のように、くぼみに指をかけてエアークフィルタを取り外します。

**3** エアークフィルタの表側を下にして、4、5回たたいてホコリを落とします。

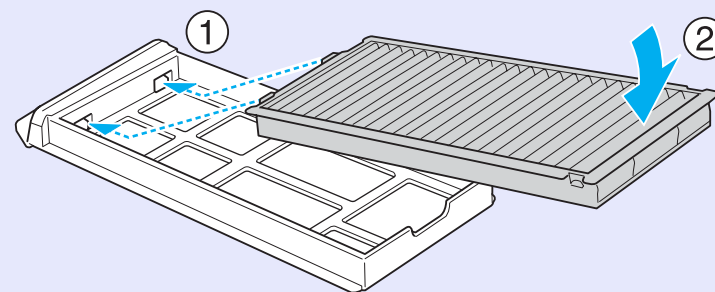
持ち替えて反対側も同様にたたいてホコリを落とします。

**注意**

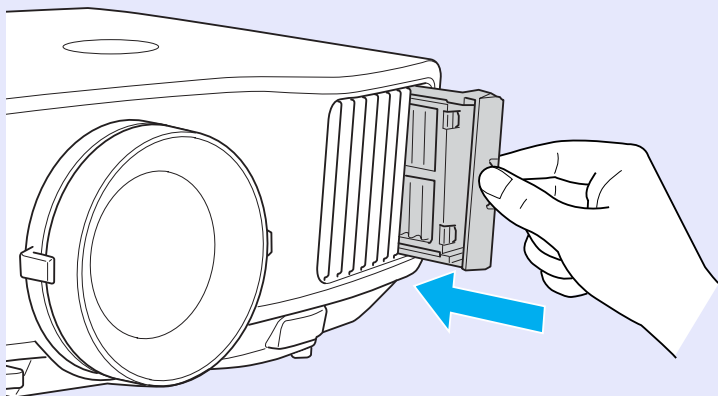
エアークフィルタを強くたたきすぎると、変形したり割れたりして使用できなくなります。

4 掃除機でエアークフィルタに残ったホコリを表側から吸い取ります。**5** エアークフィルタをエアークフィルタカバーに取り付けます。

エアークフィルタの突起をカバーの穴に差し込み、しっかり押し込みます。



- 6** エアフィルタカバーをセットします。
手ごたえがあるまで、しっかりと押し込みます。



- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される時は交換時期です。新しいエアフィルタに交換してください。▶ p.87
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いのときは、より短い周期で掃除を行ってください。



ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアフィルタの交換方法について説明します。

リモコンの電池の交換方法

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形のアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形のアルカリ乾電池以外の電池は使用できません。

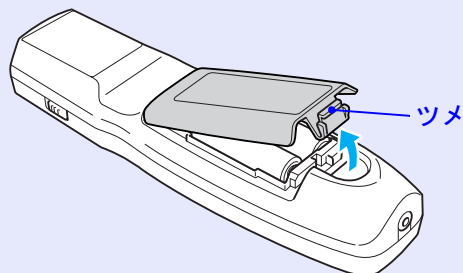
注意

電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。☞『安全にお使いいただくために』

操作

1 電池カバーを外します。

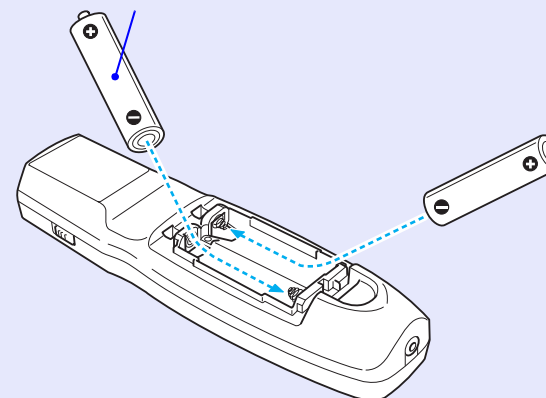
電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



2 新しい電池と交換します。

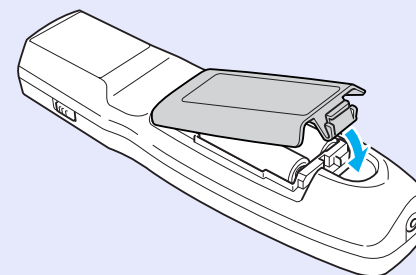
注意

電池ホルダ内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまでカバーを押し込みます。

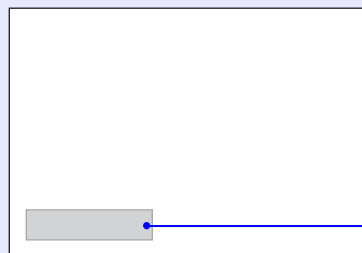


ランプの交換

■ ランプの交換時期

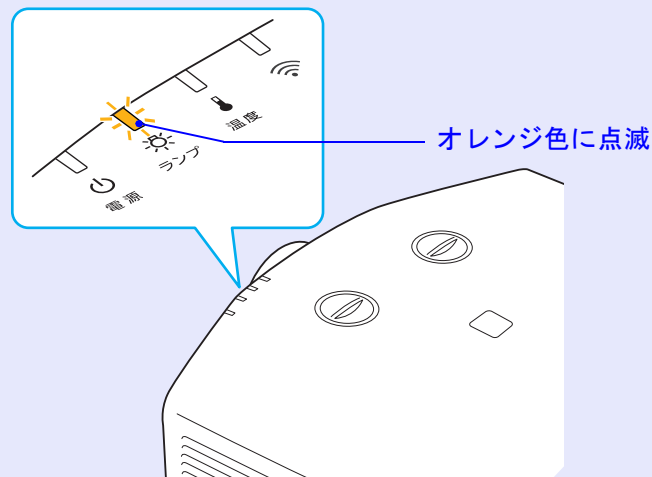
次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



メッセージが表示されます。

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



オレンジ色に点滅

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。☛「輝度切替」p.43
 - ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
 - ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

■ ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

⚠ 警告

ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。

⚠ 注意

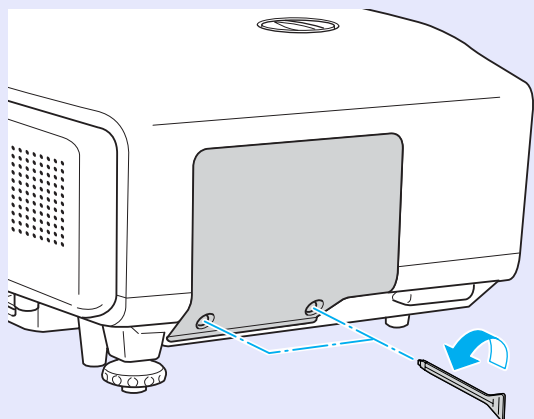
ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

操作

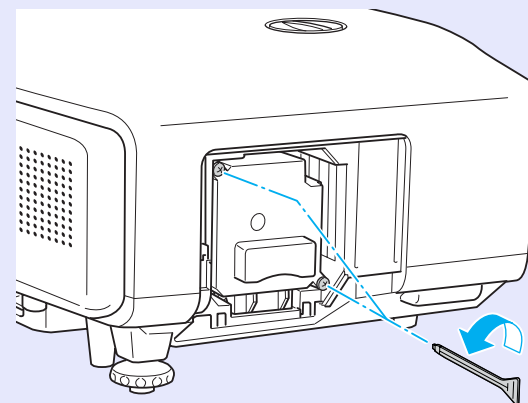
① 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源ケーブルを外します。

② ランプが十分冷えてから、本機側面のランプカバーを外します。

ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバ、または+のドライバでゆるめ、ランプカバーを取り外します。ランプカバーには落下防止のひもがついていますので、天吊り時に交換する際も外れて落ちることはありません。

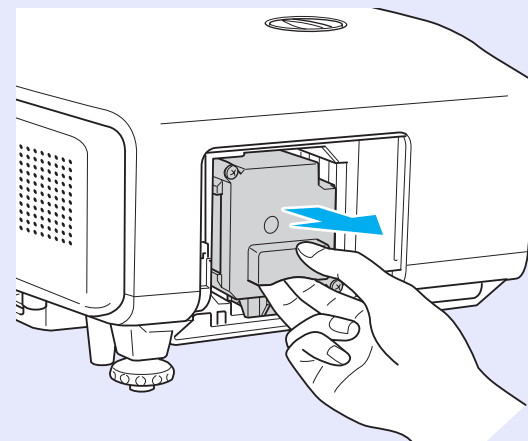


③ ランプ固定ねじ2本をゆるめます。



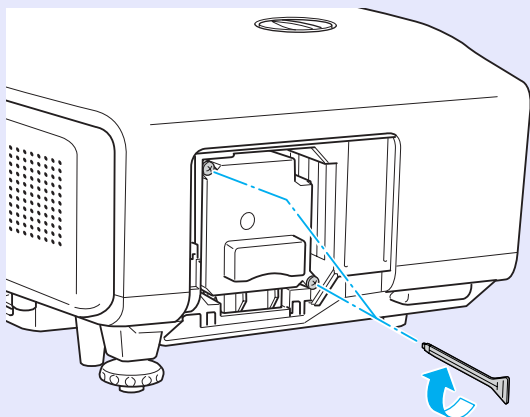
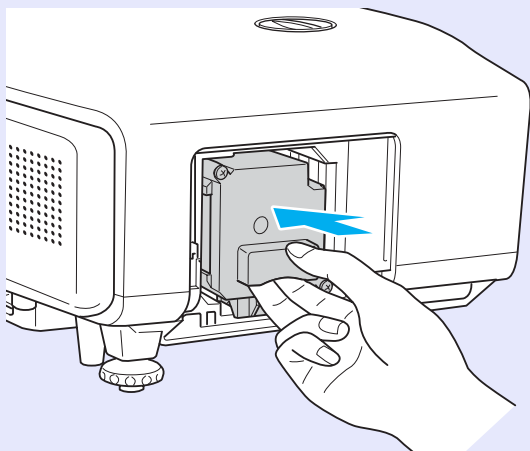
④ 古いランプをつまんで取り出します。

ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または本書に記載の連絡先にご相談ください。☞ p. 128

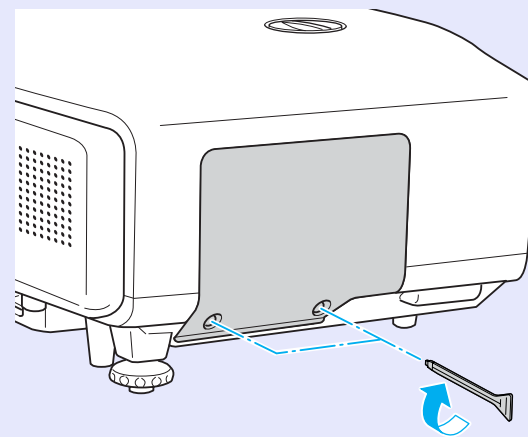


5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。



注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。☞ p. 63



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。



エアフィルタの交換

■ エアフィルタの交換時期

次の場合はエアフィルタを交換してください。

- エアフィルタが茶色く変色しているとき。
- エアフィルタの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるとき。

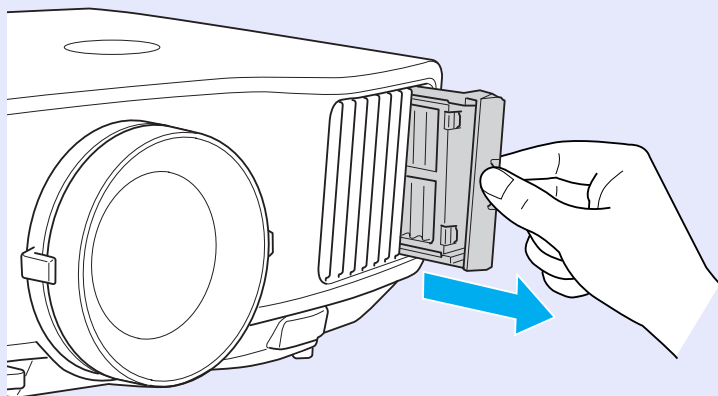
■ エアフィルタの交換方法

本機は天吊り設置したままでもエアフィルタの交換ができます。

操作

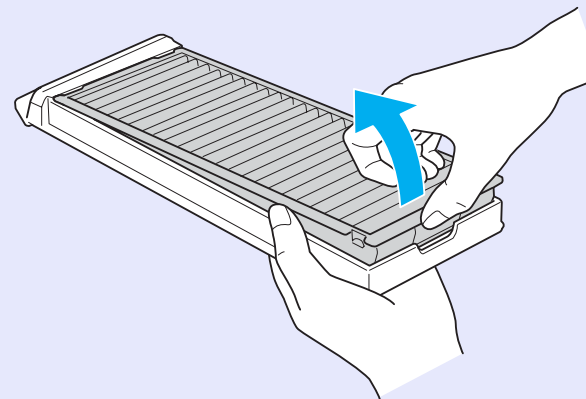
① エアフィルタカバーを取り出します。

エアフィルタカバーのタブに指をかけてまっすぐに引き出します。



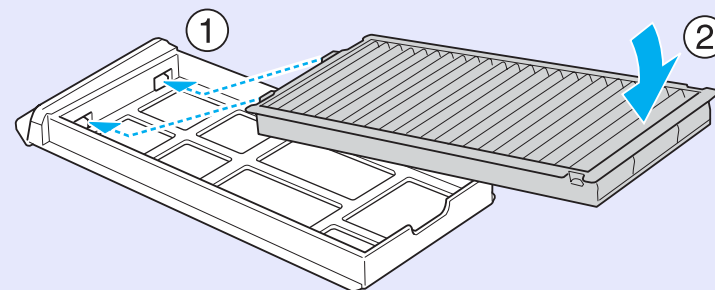
② エアフィルタを取り外します。

下図のように、くぼみに指をかけてエアフィルタを取り外します。

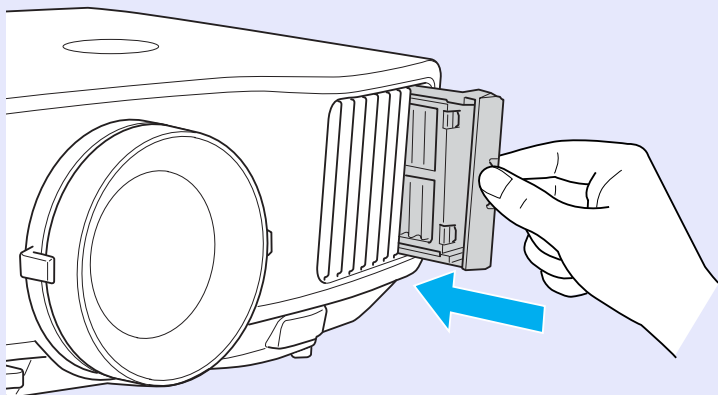


③ 新しいエアフィルタをエアフィルタカバーに取り付けます。

エアフィルタの突起をカバーの穴に差し込み、しっかり押し込みます。



- ④ エアフィルタカバーをセットします。
手ごたえがあるまで、しっかりと押し込みます。



使用済みのエアフィルタは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

枠部分の材質：ポリプロピレン

フィルタ部分の材質：ポリプロピレン



下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2008年5月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■ オプション品

60型スクリーン	ELPSC07
80型スクリーン	ELPSC08
100型スクリーン	ELPSC10
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比▶▶4:3)	
携帯スクリーン(50型)	ELPSC06
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。 (アスペクト比4:3)	
コンピュータケーブル	ELPKC02
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 1.8m) 製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。	
コンピュータケーブル	ELPKC09
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)	
コンピュータケーブル	ELPKC10
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。	
D端子ケーブル	ELPKC22
(ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。	
コンポーネントビデオケーブル	ELPKC19
(ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオ▶▶を投写するときに使います。	
リモコンケーブルセット	ELPKC28
(10m、2本セット) 離れたところから確実にリモコンで操作したいときに使います。	

ワイヤレスマウスレシーバ ELPST16

本機のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作したり、PowerPointファイル投写中にページUp/Downの操作をしたいときに使います。

マルチメディアビューワー ELPDC05

書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

無線LANユニット ELPAP03 (EB-G5350用)

本機とコンピュータを無線LANで接続して投写するときに使います。

ハードトラベルケース ELPKS58

ハンドキャリングするときに使います。

長焦点ズームレンズ ELPLL06

(投写距離比:EB-G5350/G5100の場合 約5.3~7.2
EB-G5200Wの場合 約5.2~7.1)

中焦点ズームレンズ ELPLM04

(投写距離比:EB-G5350/G5100の場合 約2.4~3.6
EB-G5200Wの場合 約2.3~3.5)

中焦点ズームレンズ ELPLM05

(投写距離比:EB-G5350/G5100の場合 約3.5~5.4
EB-G5200Wの場合 約3.5~5.3)

標準ズームレンズ ELPLS03

(投写距離比:EB-G5350/G5100の場合 約1.3~2.4
EB-G5200Wの場合 約1.3~2.3)

リアプロ用ワイドレンズ ELPLR03

(投写距離比:EB-G5350/G5100の場合 約0.78
EB-G5200Wの場合 約0.77)

投写距離比=投写距離/投写画面の幅
値は設置の目安です。投写条件により変わります。



天吊り金具※ ELPMB13

本機を天井に取り付けるときに使用します。

天井プレート※ ELPFC03


パイプ370(370mm シルバー)※ ELPFP04

パイプ570(570mm シルバー)※ ELPFP05

パイプ770(770mm シルバー)※ ELPFP06

高天井および化粧天井に取り付けるときに使用します。

※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店または本書に記載の連絡先にご相談ください。

 p.128

■ 消耗品

交換用ランプ ELP46 (EB-G5350/G5200W用)

交換用ランプ ELP47 (EB-G5100用)

使用済みランプと交換します。

エアークリナー ELPAF17

使用済みエアークリナーと交換します。



本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、ハンドルを持って静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにレンズカバーを取り付けてください。
- フット部を収納してください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包してください。

- 上下レンズシフトを最下位置に設定してください。
- 購入時にセットされていたレンズ保護パッドを装着してください。

梱包と輸送の注意

梱包の際は、購入時に使われていた梱包材や箱を使用して購入時と同様に梱包してください。

万一、梱包箱を保管していないときは、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護し、堅固なダンボール箱に入れて精密機器と指定の上、輸送してください。

輸送は、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、依頼してください。

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

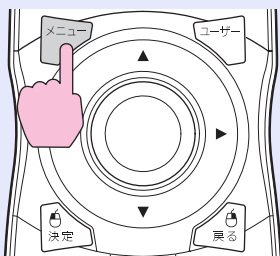


ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

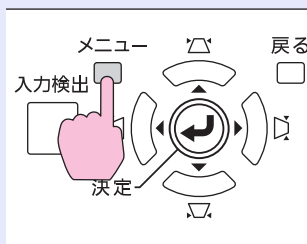
操作

- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、[メニュー]ボタンを押します。

リモコンの場合



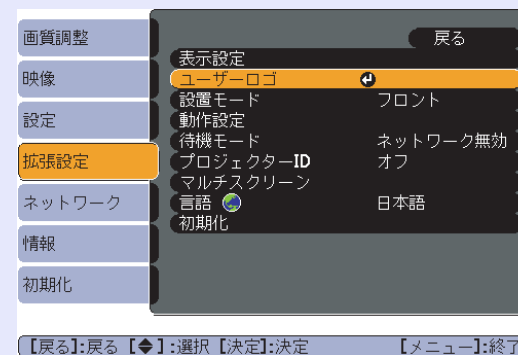
操作パネルの場合



2

環境設定メニューから「拡張設定」→「ユーザーロゴ」を選びます。☞「環境設定メニューの操作」p.39

使えるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。



- 「パスワードプロテクト」で「ユーザーロゴ保護」を「オン」に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。「ユーザーロゴ保護」を「オフ」にしてから操作してください。☞ p.33
- 台形補正、Eズーム、アスペクト、プログレッシブ変換を行っているときに「ユーザーロゴ」を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

3

「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。



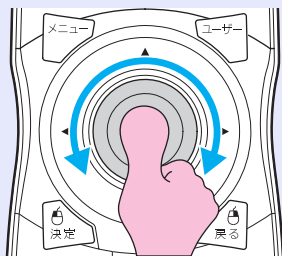
リモコンまたは操作パネルの[決定]ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。



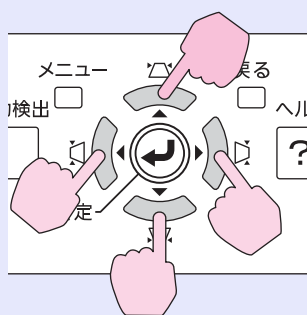
- 4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。



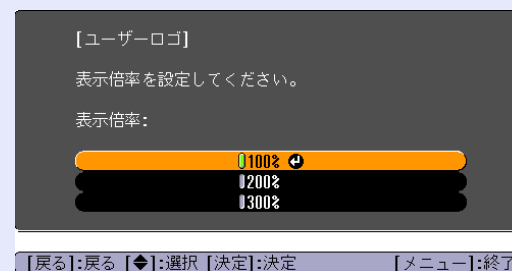
リモコンの場合



操作パネルの場合



- 5 「この映像を使用しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。
- 6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



- 7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。
- 映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。



登録できるサイズは400 × 300ドットです。



WPSの設定には以下の2通りの方式があります。

●**プッシュボタン方式**

本機操作パネルの[決定]ボタンとアクセスポイント機器に搭載されている専用ボタンを押せば、SSIDとセキュリティの設定が自動的に行われます。プロジェクターとアクセスポイントが近くにあるときはこの方式が向いています。

●**PINコード方式**

プロジェクターにあらかじめ割り振られている8桁の数字をコンピュータを介してアクセスポイント機器へ入力することで、SSIDとセキュリティの設定が自動的に行われます。コンピュータとアクセスポイント間は、事前に接続設定しておきます。接続方法はアクセスポイント機器の取扱説明書でご確認ください。プロジェクターを天吊り設置しているときは、この方式が向いています。

接続設定の方法

操作

1 本機で投写中に[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューから「ネットワーク」→「ネットワーク設定画面へ」を選びます。



ネットワーク設定画面が表示されます。

2 「無線LAN」→「設定ウィザード画面へ」を選びます。



以下の画面が表示されます。



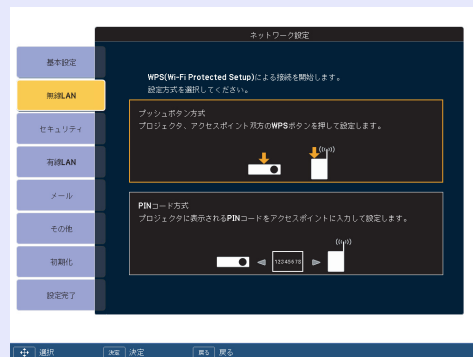
プッシュボタン方式で接続するときは、続く手順に従って操作してください。

PINコード方式で接続するときは、「PINコード方式で接続する」に進んでください。👉 p. 96

■ プッシュボタン方式で接続する

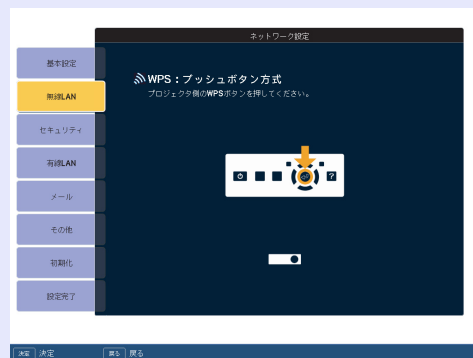
操作

1 「プッシュボタン方式」を選びます。



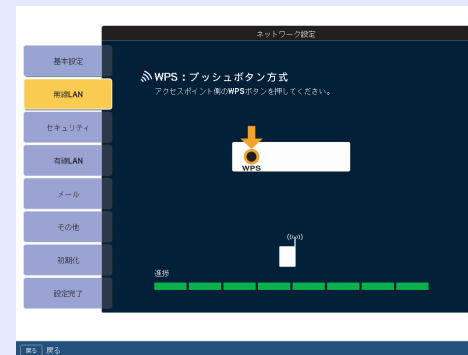
「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

2 画面の指示に従って本機操作パネルの [決定] ボタンを押します。



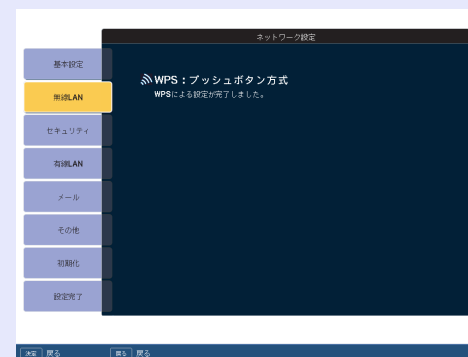
引き続き「プッシュボタン方式」画面が表示されます。

3 画面の指示に従ってアクセスポイント機器のボタンを押します。



設定が完了します。

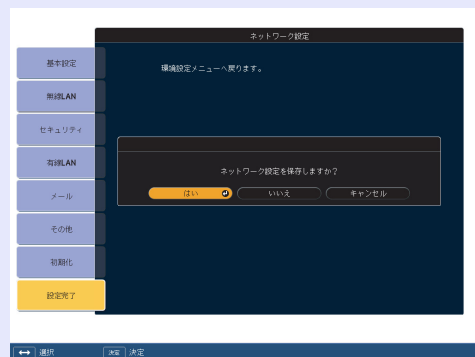
4 [決定] ボタンまたは[戻る] ボタンを押します。



無線LANメニューの画面に戻ります。



5 「設定完了」→「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

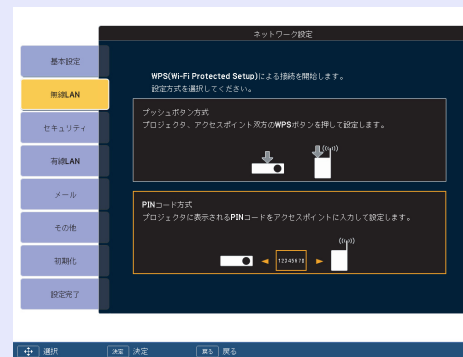
PINコード方式で接続する



PINコード方式で接続する前に、コンピュータとアクセスポイント機器の接続設定をしておきます。

操作

1 「PINコード方式」を選びます。



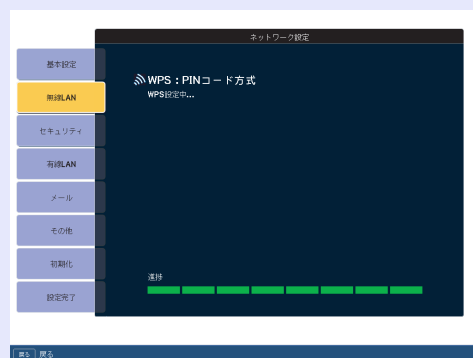
「PINコード方式」画面が表示されます。



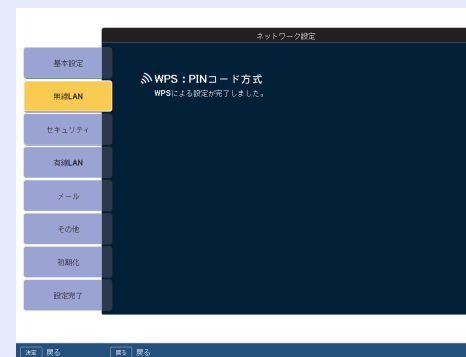
- ② 「PIN コード方式」画面に表示されている PIN コードをコンピュータからアクセスポイント機器に入力し「設定スタート」を選びます。



進行状況が表示されます。

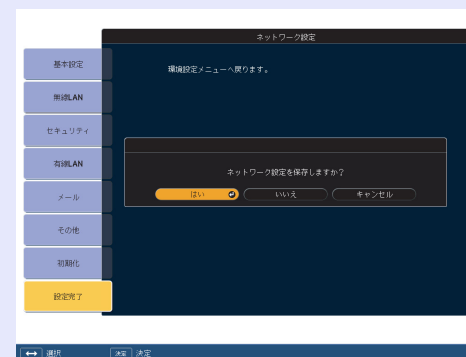


- ③ 「WPSによる設定が完了しました。」と表示されたら[決定]ボタンまたは[戻る]ボタンを押します。



無線LANメニューの画面に戻ります。

- ④ 「設定完了」→「はい」を選びます。



以上でプロジェクターとアクセスポイント間の接続が完了しました。[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

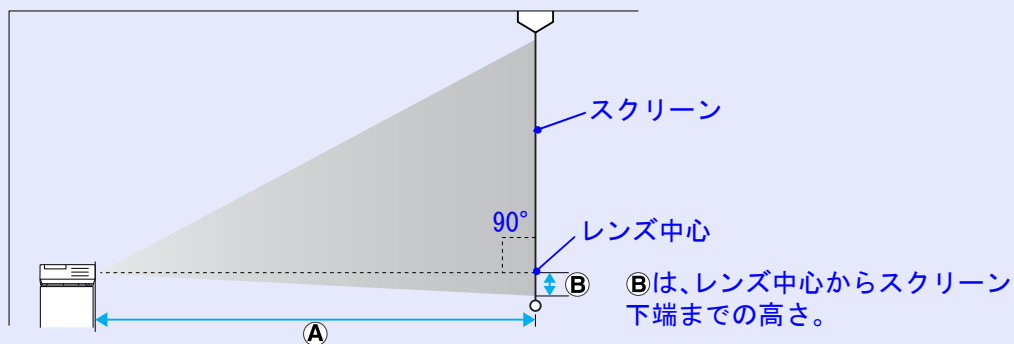


下表は、標準レンズを装着しているときの投写距離を記載しています。オプションレンズを装着しているときは、オプションレンズに添付の『取扱説明書』で投写距離を確認してください。下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさに映るように設置してください。値は目安です。

EB-G5350/G5100の投写距離

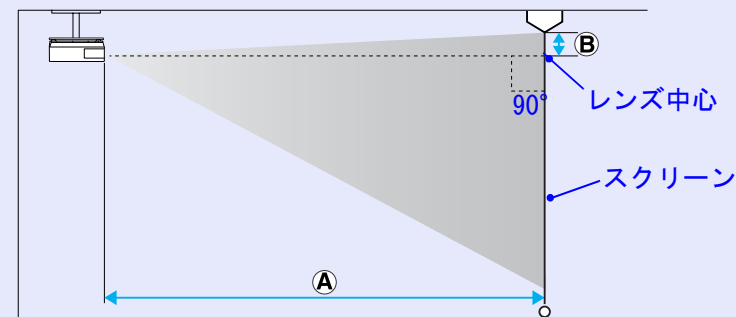
単位:cm

4:3スクリーンサイズ		投写距離 A		B	
		最短 (ワイド)~	最長 (テレ)	最短 (ワイド)~	最長 (テレ)
30型	61×46	77~	142	0~	46
40型	81×61	104~	190	0~	61
50型	100×76	131~	239	0~	76
60型	120×90	158~	288	0~	91
80型	160×120	212~	385	0~	122
100型	200×150	266~	483	0~	152
120型	240×180	321~	580	0~	183
150型	300×230	402~	726	0~	229
200型	410×300	537~	970	0~	305
300型	610×460	808~	1457	0~	457



単位:cm

16:9スクリーンサイズ		投写距離 A		B	
		最短 (ワイド)~	最長 (テレ)	最短 (ワイド)~	最長 (テレ)
30型	66×37	84~	154	-6~	44
40型	89×50	113~	207	-8~	58
50型	110×62	143~	261	-10~	73
60型	130×75	172~	314	-12~	87
80型	180×100	231~	420	-17~	116
100型	220×120	290~	526	-21~	145
120型	270×150	349~	632	-25~	174
150型	330×190	438~	791	-31~	218
200型	440×250	586~	1056	-42~	291
275型	610×340	808~	1457	-57~	400



EB-G5200Wの投写距離

単位:cm

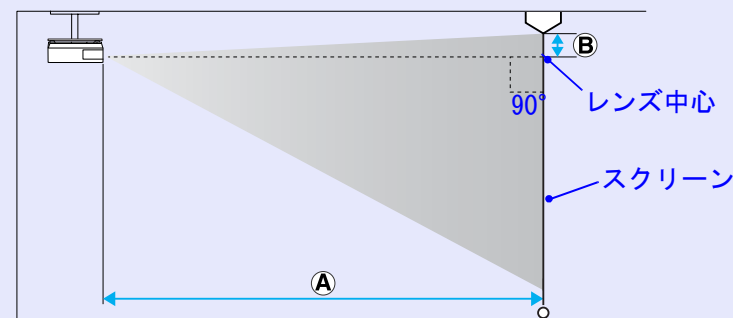
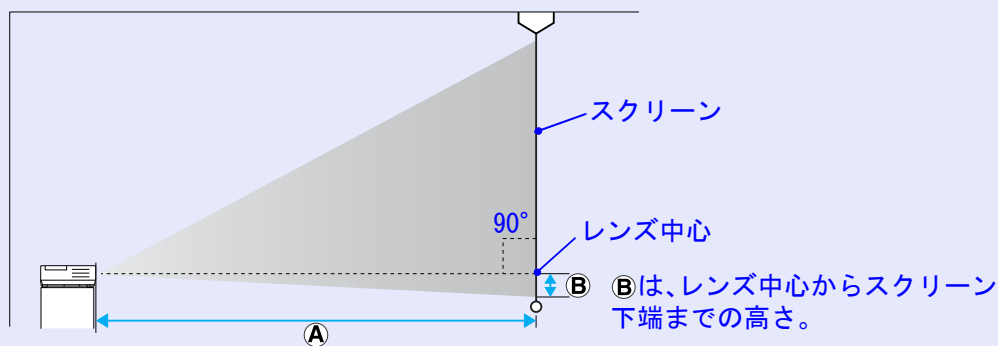
4:3スクリーンサイズ		投写距離 A		B	
		最短 (ワイド)	最長 (テレ)	最短 (ワイド)	最長 (テレ)
30型	61×46	92	169	-4	50
40型	81×61	124	227	-6	67
50型	100×76	156	285	-7	83
60型	120×90	189	343	-9	100
80型	160×120	253	459	-12	134
100型	200×150	318	575	-15	167
120型	240×180	382	691	-17	200
150型	300×230	479	864	-22	250
200型	410×300	640	1154	-29	334
265型	540×400	851	1532	-38	442

単位:cm

16:9スクリーンサイズ		投写距離 A		B	
		最短 (ワイド)	最長 (テレ)	最短 (ワイド)	最長 (テレ)
30型	66×37	83	153	-6	43
40型	89×50	113	206	-8	58
50型	110×62	142	259	-10	72
60型	130×75	171	311	-12	87
80型	180×100	230	417	-16	116
100型	220×120	288	522	-20	145
120型	270×150	347	627	-24	174
150型	330×190	435	785	-30	217
200型	440×250	581	1048	-40	289
290型	640×360	851	1532	-59	422

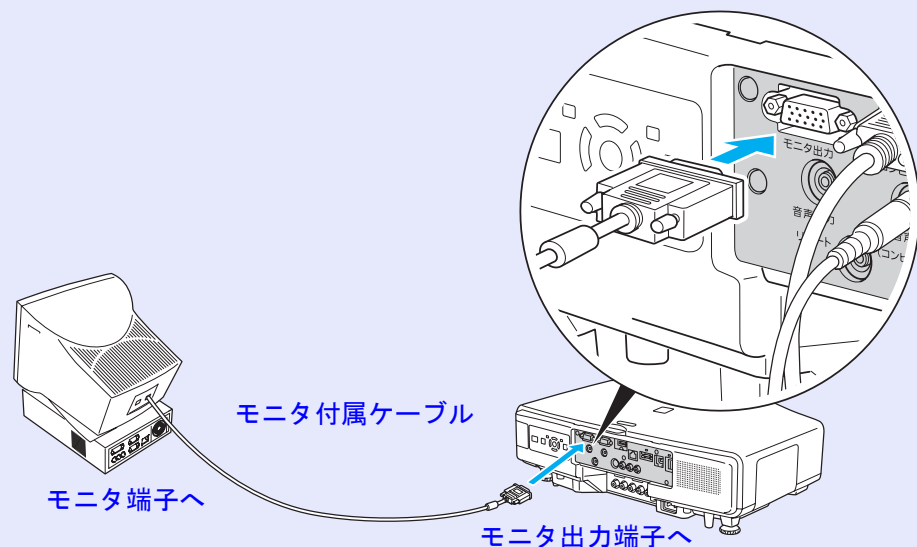
単位:cm

16:10スクリーンサイズ		投写距離 A		B	
		最短 (ワイド)	最長 (テレ)	最短 (ワイド)	最長 (テレ)
30型	66×41	81	149	-4	44
40型	89×56	110	200	-5	59
50型	110×67	138	252	-6	74
60型	130×81	167	303	-8	88
80型	180×110	224	405	-10	118
100型	220×130	281	508	-13	147
120型	270×169	338	610	-15	177
150型	330×206	423	764	-19	221
200型	440×275	566	1020	-26	295
300型	660×410	851	1532	-38	442



外部モニタとの接続

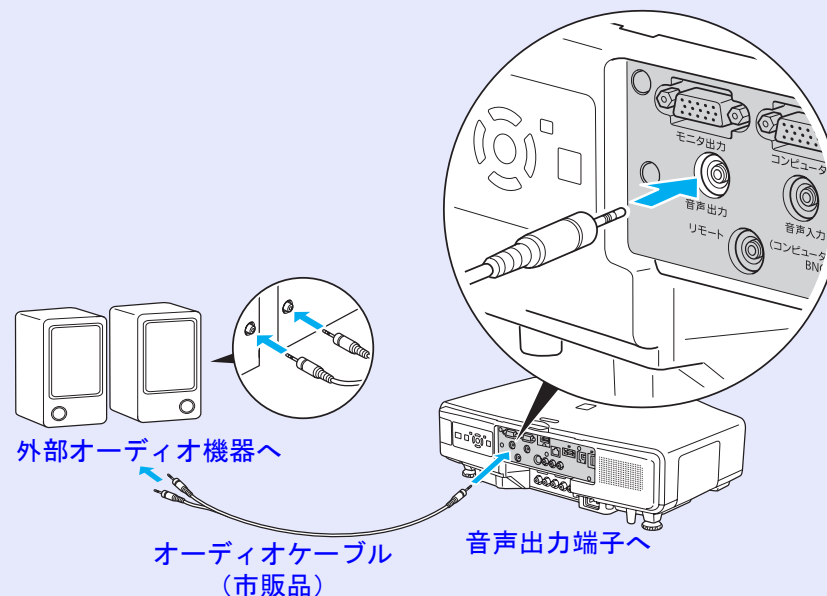
コンピュータ1/2入力端子、BNC入力端子から入力しているコンピュータ映像は、本機に接続した外部モニタとスクリーンに同時に表示できます。スクリーンから離れた位置でプレゼンテーションを行うときでも、外部モニタで映像を確認しながら行えます。接続は外部モニタに付属のケーブルで行います。



- コンポーネントビデオ信号やビデオ1/2入力端子、S-ビデオ入力端子、HDMI入力端子に接続した機器の映像を外部モニタに表示することはできません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプは外部モニタに出力されません。

外部スピーカーとの接続

本機の音声出力端子と外付けのアンプ内蔵スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。接続は市販のオーディオケーブル(ピンプラグ ↔ 3.5mmステレオミニプラグなど)で行います。オーディオケーブルは、外部オーディオ機器のコネクタ形状に合わせて購入してください。



- 音声出力端子へオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり本機の内蔵スピーカーからは音が出なくなります。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルをご使用になる際は「抵抗なし」と表記されたものをお選びください。

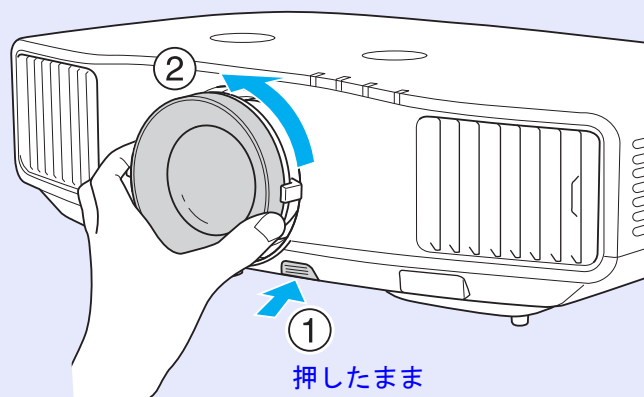
取り外し方

注意

- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部にホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- レンズユニット取り外しボタン固定ネジを装着しているときは、事前にネジを取り外してください。

操作

- 1 レンズユニット取り外しボタンを押したままレンズユニットを反時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。



- 2 レンズユニットが外れますので、まっすぐに引き抜きます。

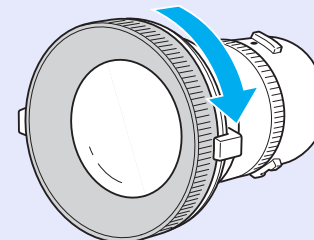
取り付け方

注意

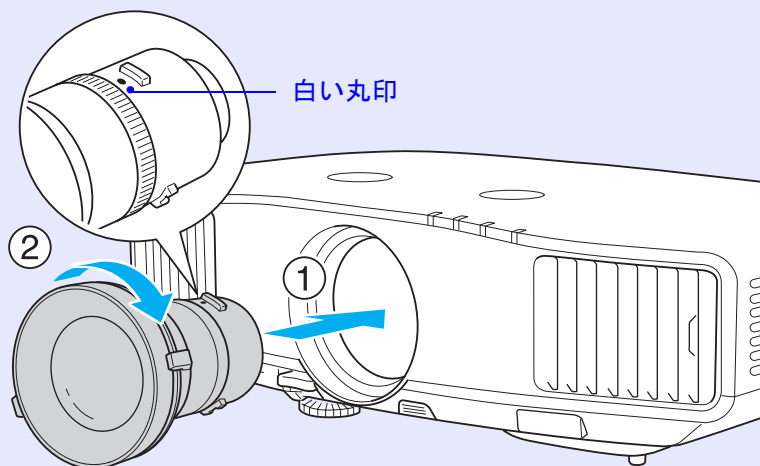
本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでください。ホコリやゴミが入る原因となります。

操作

- 1 フォーカスリングを動かなくなるまで時計回りに回します。



- ② レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部にまっすぐ挿入し、突き当たったら時計回りに「カチッ」と音がするまで回します。



- ③ レンズユニットを反時計回りに回してみ、外れないことを確認してください。



USB2.0または1.1に対応したデジタルカメラやハードディスク、USBメモリを接続できます。接続したデジタルカメラ内の画像ファイルやUSBストレージ内のシナリオ・画像・動画ファイルは、EasyMPのPC Freeで再生します。

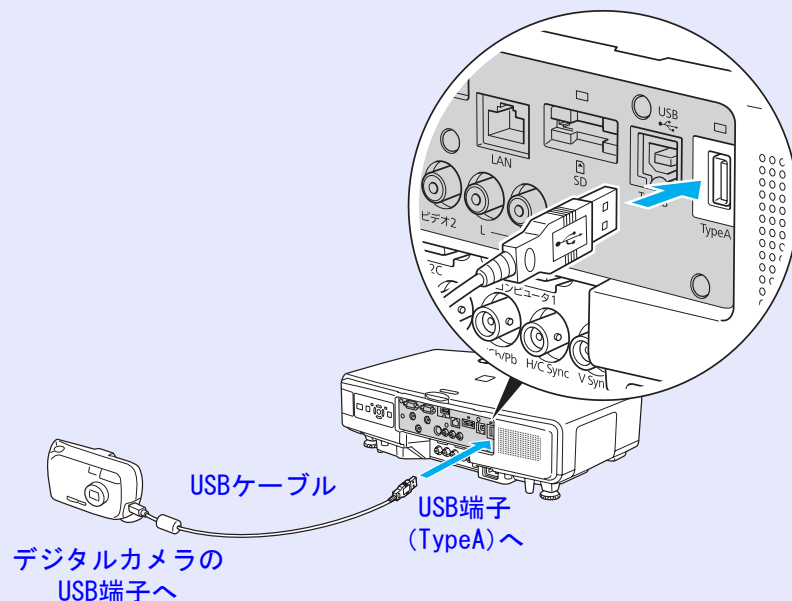
☛ 『EasyMP活用ガイド』『PC Freeの基本操作』

USB機器の接続

ここではデジタルカメラを例に、USB機器の接続方法を説明します。デジタルカメラに同梱、あるいは指定のUSBケーブルを使って、接続します。



3m以下の長さのUSBケーブルをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、PC Freeが正しく動作しないことがあります。



注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しないことがあります。デジタルカメラやUSBストレージを直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプタを接続してください。

USBインジケータの見方

下記のようにUSBインジケータの色で接続しているUSB機器の状態をお知らせします。

■ :点灯 □ :消灯

インジケータ	状態
■ (オレンジ)	USB機器が接続されています。
■ (緑)	PC Freeが動作中です。
□	USB機器は接続されていません。

USB機器の取り外し方

投写終了後は、以下の手順で本機からUSB機器を取り外します。

操作

- 1 デジタルカメラまたはUSBストレージの電源を切ります。
- 2 本機のUSB端子(Type A)から取り外します。

SDメモリカードやSDHC(SD High Capacity)カードに保存されている画像・動画ファイルをEasyMPのPC Freeで再生・投写できます。

☛ [『EasyMP活用ガイド』](#) [『PC Freeの基本操作』](#)

以降、一括してSDカードと呼びます。

ここではSDカードのセット方法と取り出し方を説明します。

セット方法

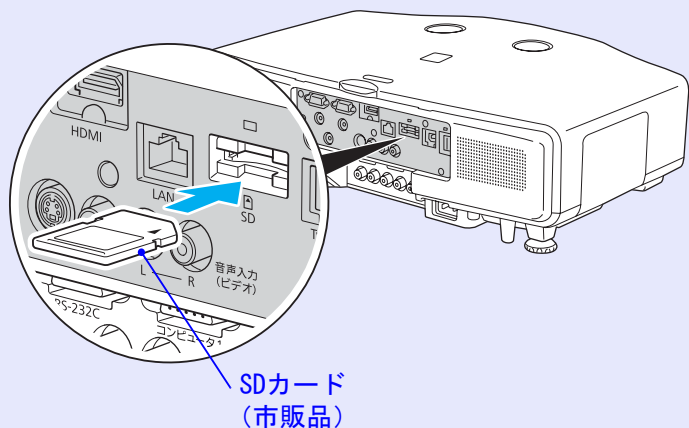
注意

SDカードは正しい向きでセットしてください。誤った向きでセットすると故障や破損の原因となります。

操作

SDカードの表面を上側に向けてカードスロットに差し込みます。

止まるところまでしっかり差し込んでください。



SDカード
(市販品)

SDカードアクセスランプの見方

下記のようにSDカードアクセスランプが点灯・点滅してSDカードのアクセス状態をお知らせします。

:点滅 :点灯 :消灯

ランプ	状態
	SDカードにデータを読み書きしています。
	SDカードが待機状態です。
	SDカードが未挿入か、セットされているSDカードに不具合があります。

取り出し方

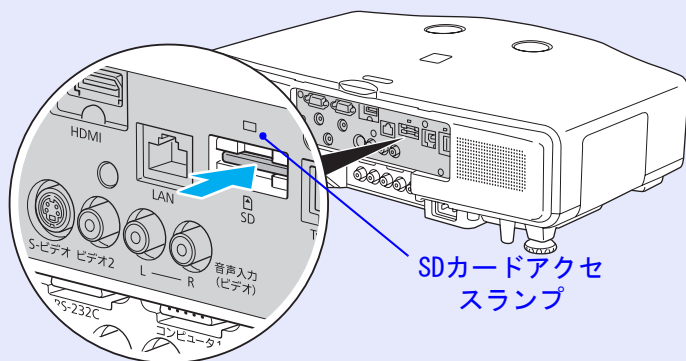
注意

SDカードアクセスランプが緑色に点滅しているときはカードを取り出さないでください。カード内のデータが壊れたり、本機の故障の原因となります。

操作

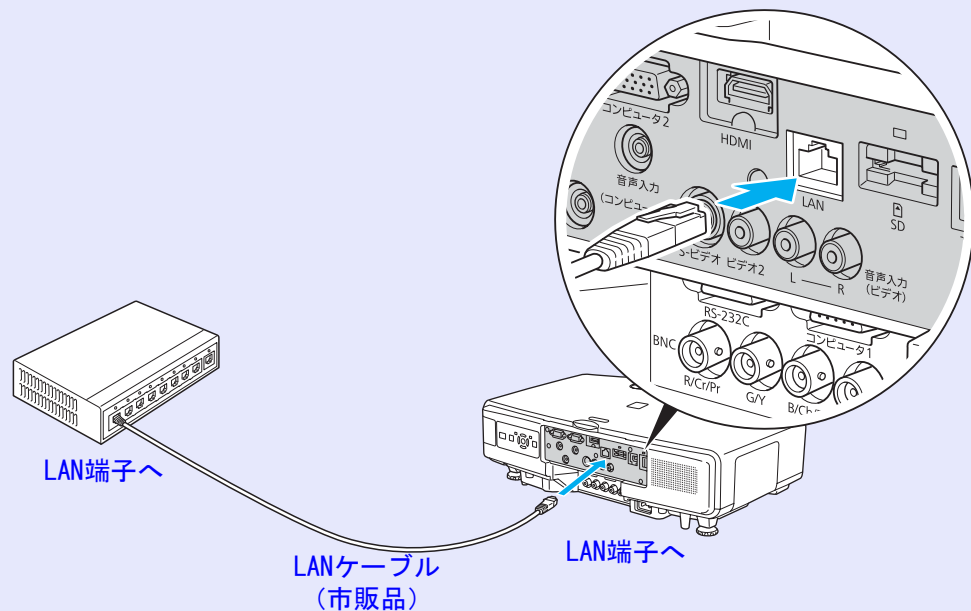
① SDカードを軽く押します。

SDカードが飛び出します。



② SDカードをつまんで、まっすぐに引き抜きます。

市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで接続します。下図はEB-G5350を例に記載しています。お使いのモデルによってSDカードスロットがないなどインターフェイスが異なります。



注意

LANケーブルは誤動作防止のために、カテゴリ5のシールド付をお使いください。

メール通知機能を「オン」に設定して本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。


メールタイトル:EPSON Projector

1行目:異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目:異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降:異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。

異常/警告の対処方法は「インジケータの見かた」( p.66)をご確認ください。

メッセージ	原因
Internal error	内部異常
Fan related error	ファン異常
Sensor error	センサ異常
Lamp cover is open.	ランプカバー開放状態
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗
Lamp out	ランプ異常
Power Err. (Ballast)	電源系異常(バラスト)
Internal temperature error	内部高温異常 (オーバーヒート)
High-speed cooling in progress	高温警告
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告
No-signal	ノーシグナル 本機に映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。

メッセージの最初に(+)や(-)が付きます。

(+):本機に異常が発生した場合

(-):本機の異常が対処された場合

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン「:」(3Ah)を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後「:」を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に「:」を返信します。

項目	コマンド		
電源のオン/オフ	オン	PWR ON	
	オフ	PWR OFF	
信号切り替え	コンピュータ1	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	コンピュータ2	オート	SOURCE 2F
		RGB	SOURCE 21
		コンポーネント	SOURCE 24
	BNC	オート	SOURCE BF
		RGB	SOURCE B1
		コンポーネント	SOURCE B4
	ビデオ1	SOURCE 45	
	ビデオ2	SOURCE 41	
	S-ビデオ	SOURCE 42	
	HDMI	SOURCE 30	
	EasyMP (EB-G5350のみ)	SOURCE 50	

項目	コマンド	
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ロゴ	MSEL 02

※ 各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

ケーブル配線

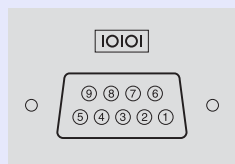
■ シリアル接続

- コネクタ形状 :D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名 :RS-232C

<プロジェクター側>



<コンピュータ側>



<プロジェクター側> (PCシリアルケーブル) <コンピュータ側>

GND	5	—————	5	GND
RD	2	←—————	3	TD
TD	3	—————→	2	RD
DTR	4	—————→	6	DSR
DSR	6	←—————	4	DTR

信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

■ 通信プロトコル

- ボーレート基準速度 :9600bps
- データ長 :8bit
- パリティ :なし
- ストップビット :1bit
- フロー制御 :なし

本機をネットワークを介してコンピュータと接続して、コンピュータ画面の映像を投写するには、以下の2通りの方法があります。

- 「EMP NS Connection」で行う

同梱の『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』に収録されている「EMP NS Connection」には、分配機能、マルチスクリーンディスプレイ、動画再生モード、プレゼンテーションモードなど多彩な画面転送機能が備わっています。「EMP NS Connection」を使えば、単にプロジェクタとコンピュータを接続して投写するだけでなく効果的な会議やプレゼンテーションが行えます。

☞ 『EasyMP活用ガイド』

- 「ネットワークプロジェクタ」で行う

「ネットワークプロジェクタ」はWindows Vistaに標準搭載の機能です。したがって、特別なアプリケーションソフトをインストールしなくてもOSが持つ機能だけでネットワーク上のプロジェクタを検出してコンピュータ画面の映像を投写できます。

ここでは、「ネットワークプロジェクタ」の使い方を簡単に説明します。本機とコンピュータがネットワークに接続されていることを確認して、以下の操作を行います。

操作

① 本機の電源を入れ、リモコンの[EasyMP]ボタンを押します。

② コンピュータでWindowsを起動し、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ネットワークプロジェクタ」の順に選択します。

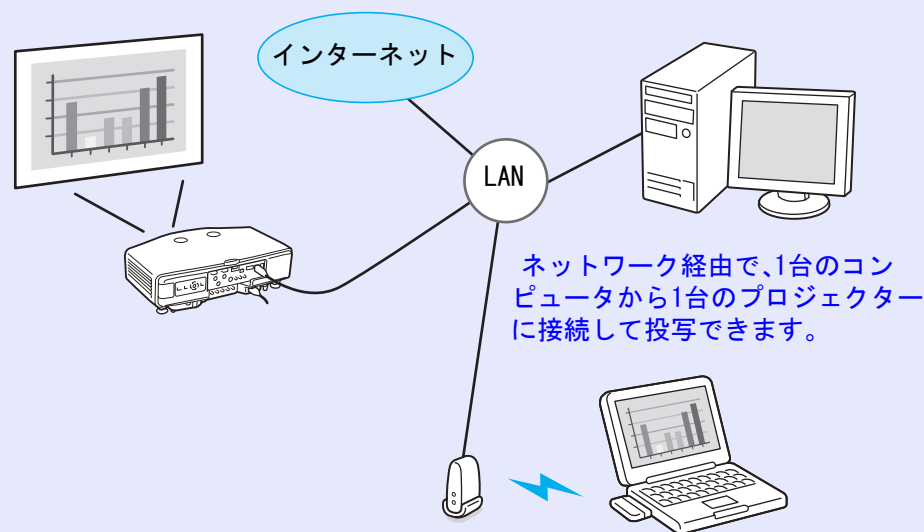
接続設定画面が表示されます。
自動でプロジェクタを検出する方法と、IPアドレスを入力して検出する方法があります。

③ 検出結果から目的のプロジェクタを選択して「接続」をクリックします。

プロジェクタのパスワードを問い合わせる画面が表示されたときは、本機のEasyMP待機画面の下に表示されている「プロジェクタキーワード」を入力してください。
☞ 『EasyMP活用ガイド』「プロジェクタ側の準備」



Windowsミーティング スペースの「オプション」から「ネットワークプロジェクタ」を実行するときは、お使いのコンピュータの画面の色を最高(32ビット)に設定してください。32ビットになっていないとメッセージが表示され接続することができません。



対応OS

Windows: Vista Home Premium/Vista Business/Vista Enterprise/
Vista Ultimate

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class 1が策定されました。

本機は、JBMIA が策定したPJLink Class 1の規格に適合しています。PJLink Class 1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL: <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

■ 非対応コマンド

機能	PJLinkコマンド	
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	映像ミュート解除	AVMT 10
	音声ミュート設定	AVMT 21
	音声ミュート解除	AVMT 20

■ 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON

■ 「機種情報問合せ」で表示する機種名
EB-G5350
EB-G5200W
EB-G5100

■ PJLinkで定義している入力名と本機の入力端子の対応

入力端子	PJLinkコマンド
コンピュータ1入力	INPT 11
コンピュータ2入力	INPT 12
BNC入力	INPT 13
ビデオ1入力	INPT 23
ビデオ2入力	INPT 21
S-ビデオ入力	INPT 22
HDMI入力	INPT 32
EasyMP	INPT 51

EB-G5350/G5100の対応解像度

■ コンピュータ映像(アナログRGB)

単位:ドット

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度	アスペクトモード			
			ノーマル	4:3	16:9	スルー
VGAEGA	70	640×350	1024×560	1024×768	1024×576	640×350
VGA	60/72/75/85/iMac ^{※1}	640×480/640×360 ^{※2}	1024×768	1024×768	1024×576	640×480
SVGA	56/60/72/75/85/iMac ^{※1}	800×600/800×450 ^{※2}	1024×768	1024×768	1024×576	800×600
XGA	60/70/75/85/iMac ^{※1}	1024×768/1024×576 ^{※2}	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
WXGA	60	1280×768	1024×614	1024×768	1024×576	1024×768
	60	1360×768	1024×578	1024×768	1024×576	1024×768
	60/75/85	1280×800	1024×640	1024×768	1024×576	1024×768
WXGA+	60/75/85	1440×900	1024×640	1024×768	1024×576	1024×768
SXGA	70/75/85	1152×864	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
	60/75/85	1280×1024	960×768	1024×768	1024×576	1024×768
	60/75/85	1280×960	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
SXGA+	60/75/85	1400×1050	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
UXGA	60	1600×1200	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
MAC13"	67	640×480	1024×768	1024×768	1024×576	640×480
MAC16"	75	832×624	1024×768	1024×768	1024×576	832×624
MAC19"	75	1024×768	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
	60	1024×768	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
MAC21"	75	1152×870	1016×768	1024×768	1024×576	1024×768

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 レターボックス信号

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

■ コンポーネントビデオ

単位: ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
SDTV (480i)	60	720×480/720×360※	1024×768	1024×576
SDTV (576i)	50	720×576/720×432※	1024×768	1024×576
SDTV (480p)	60	720×480/720×360※	1024×768	1024×576
SDTV (576p)	50	720×576/720×432※	1024×768	1024×576
HDTV (720p)	50/60	1280×720	1024×768	1024×576
HDTV (1080i)	50/60	1920×1080	1024×768	1024×576
HDTV (1080p)	50/60	1920×1080	1024×768	1024×576

※ レターボックス信号

■ コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位: ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード	
			4:3	16:9
TV (NTSC)	60	720×480/720×360※	1024×768	1024×576
TV (PAL, SECAM)	50	720×576/720×432※	1024×768	1024×576

※ レターボックス信号

■ HDMI入力端子からの入力信号

単位:ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード		
			4:3	16:9	スルー
VGA	60	640×480/640×360※1	1024×768	1024×576	640×480
SVGA	60	800×600	1024×768	1024×576	800×600
XGA	60	1024×768	1024×768	1024×576	1024×768
WXGA	60	1280×800	1024×768	1024×576	1024×768
SXGA	60	1280×960	1024×768	1024×576	1024×768
	60	1280×1024	1024×768	1024×576	1024×768
SXGA+	60	1400×1050	1024×768	1024×576	1024×768
UXGA	60	1600×1200	1024×768	1024×576	1024×768
SDTV(480i)	60	720×480/720×360※1	1024×768	1024×576	640×480
SDTV(480p)	60	720×480/720×360※1	1024×768	1024×576	640×480
SDTV(576i)	50	720×576/720×432※1	1024×768	1024×576	768×576
SDTV(576p)	50	720×576/720×432※1	1024×768	1024×576	768×576
HDTV(720p)	50/60	1280×720	1024×768	1024×576	1024×720
HDTV(1080i)	50/60	1920×1080	1024×768	1024×576	1024×768
HDTV(1080p)	24/50/60	1920×1080	1024×768	1024×576	1024×768

※1 レターボックス信号

EB-G5200Wの対応解像度

■ コンピュータ映像(アナログRGB)

単位:ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	スルー
VGAEGA	70	640×350	1280×700	1280×720	1280×800	1280×700	640×350
VGA	60/72/75/85/iMac ^{※1}	640×480/640×360 ^{※2}	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SVGA	56/60/72/75/85/iMac ^{※1}	800×600/800×450 ^{※2}	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	800×600
XGA	60/70/75/85/iMac ^{※1}	1024×768/1024×576 ^{※2}	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1024×768
WXGA	60	1280×768	1280×768	1280×720	1280×800	1280×768	1280×768
	60	1360×768	1280×722	1280×720	1280×800	1280×722	1280×768
	60/75/85	1280×800	1280×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
WXGA+	60/75/85	1440×900	1280×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
WSXGA+ ^{※3}	60	1680×1050	1280×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
SXGA	70/75/85	1152×864	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
	60/75/85	1280×1024	1000×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
	60/75/85	1280×960	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
SXGA+	60/75/85	1400×1050	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
UXGA	60	1600×1200	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
MAC13”	67	640×480	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
MAC16”	75	832×624	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	832×624
MAC19”	75	1024×768	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1024×768
	60	1024×768	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	1024×768
MAC21”	75	1152×870	1059×800	1280×720	1280×800	1280×800	1152×800

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

※2 レターボックス信号

※3 環境設定メニューの「入力解像度」で「ワイド」を選択しているときに限り対応します。 p. 41

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

■ コンポーネントビデオ

単位: ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	スルー
SDTV (480i)	60	720×480/720×360*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SDTV (576i)	50	720×576/720×432*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	768×576
SDTV (480p)	60	720×480/720×360*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SDTV (576p)	50	720×576/720×432*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	768×576
HDTV (720p)	50/60	1280×720	1280×720	1280×720	1280×800	1280×720	1280×720
HDTV (1080i)	50/60	1920×1080	1280×720	1280×720	1280×800	1280×720	1280×800
HDTV (1080p)	50/60	1920×1080	1280×720	1280×720	1280×800	1280×720	1280×800

※ レターボックス信号

■ コンポジットビデオ/S-ビデオ

単位: ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード				
			ノーマル	16:9	フル	ズーム	スルー
TV (NTSC)	60	720×480/720×360*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
TV (PAL, SECAM)	50	720×576/720×432*	1066×800	1280×720	1280×800	1280×800	768×576

※ レターボックス信号

■ HDMI入力端子からの入力信号

単位:ドット

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度	アスペクトモード			
			16:9	フル	ズーム	スルー
VG	60	640×480/640×360※1	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SVGA	60	800×600	1280×720	1280×800	1280×800	800×600
XGA	60	1024×768	1280×720	1280×800	1280×800	1024×768
WXGA	60	1280×800	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
SXGA	60	1280×960	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
	60	1280×1024	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
SXGA+	60	1400×1050	1280×800	1280×800	1280×800	1280×800
UXGA	60	1600×1200	1280×720	1280×800	1280×800	1280×800
SDTV (480i)	60	720×480/720×360※1	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SDTV (480p)	60	720×480/720×360※1	1280×720	1280×800	1280×800	640×480
SDTV (576i)	50	720×576/720×432※1	1280×720	1280×800	1280×800	768×576
SDTV (576p)	50	720×576/720×432※1	1280×720	1280×800	1280×800	768×576
HDTV (720p)	50/60	1280×720	1280×720	1280×800	1280×720	1280×720
HDTV (1080i)	50/60	1920×1080	1280×720	1280×800	1280×720	1280×800
HDTV (1080p)	24/50/60	1920×1080	1280×720	1280×800	1280×720	1280×800

※1 レターボックス信号

本機仕様

商品名	EB-G5350		EB-G5100	EB-G5200W
外形サイズ※1	幅470×高さ135×奥行き311.5mm(フット・投写レンズ部含まず)			
パネルサイズ	0.8型		0.74型ワイド	
表示方式	ポリシリコンTFTアクティブマトリクス			
画素数	786,432個 XGA(横1024×縦768ドット)×3		1,024,000個 WXGA (横1280×縦800ドット)×3	
フォーカス調整	手動			
ズーム調整※1	手動(1-1.8)			
ランプ	UHEランプ 定格275W 型番:ELPLP46	UHEランプ 定格210W 型番:ELPLP47	UHEランプ 定格275W 型番:ELPLP46	
音声最大出力	7Wモノラル			
スピーカー	1個			
電源	100-240V AC ±10%, 50/60Hz 4.7-2.0A	100-240V AC ±10%, 50/60Hz 3.8-1.7A	100-240V AC ±10%, 50/60Hz 4.7-2.0A	
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力 423W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.4W 待機時消費電力(ネットワーク有効):10W	定格消費電力 343W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.4W 待機時消費電力(ネットワーク有効):10W	定格消費電力 423W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.4W 待機時消費電力(ネットワーク有効):10W
	220-240Vエリア	定格消費電力 398W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.6W 待機時消費電力(ネットワーク有効):12W	定格消費電力 327W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.6W 待機時消費電力(ネットワーク有効):12W	定格消費電力 398W 待機時消費電力(ネットワーク無効):0.6W 待機時消費電力(ネットワーク有効):12W
動作高度	標高 0~3000m			
動作温度範囲	0~+40℃※2(結露しないこと)			
保存温度範囲	-10~+60℃(結露しないこと)			
質量※1	約6.8kg			

※1 標準レンズを装着しているときの仕様です。他のオプションレンズを装着しているときは、レンズに添付の『取扱説明書』をご参照ください。

※2 標高1500m~3000mで「輝度切替」を「高輝度」に設定しているときは0~+35℃

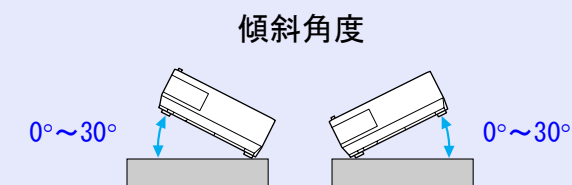


商品名			EB-G5350	EB-G5100	EB-G5200W
接続端子	コンピュータ1入力端子	1系統		ミニD-Sub 15pin(メス)青	
	コンピュータ2入力端子	1系統		ミニD-Sub 15pin(メス)青	
	BNC入力端子	1系統		5BNC(メス)	
	音声入力端子	1系統		ステレオミニピンジャック	
	ビデオ1入力端子	1系統		1BNC(メス)	
	ビデオ2入力端子	1系統		RCAピンジャック	
	S-ビデオ入力端子	1系統		ミニDIN 4pin	
	音声入力端子	1系統		RCAピンジャック×2 (L, R)	
	HDMI入力端子	1系統		HDMI (音声はPCMにのみ対応)	
	モニタ出力端子	1系統		ミニD-Sub 15pin(メス)黒	
	音声出力端子	1系統		ステレオミニピンジャック	
	LAN端子	1系統		RJ-45	
	USB端子 (TypeA)※3	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)		—
	USB端子 (TypeB)※3	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)		—
カードスロット	1系統	SDカード×1		—	
RS-232C端子	1系統		ミニD-Sub 9pin(オス)		
リモート端子	1系統		ステレオミニピンジャック		

※3 USB端子は2.0に対応しています。USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。



本機にはPixelworks DNX™のICが搭載されています。



SDHCロゴは商標です。

30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

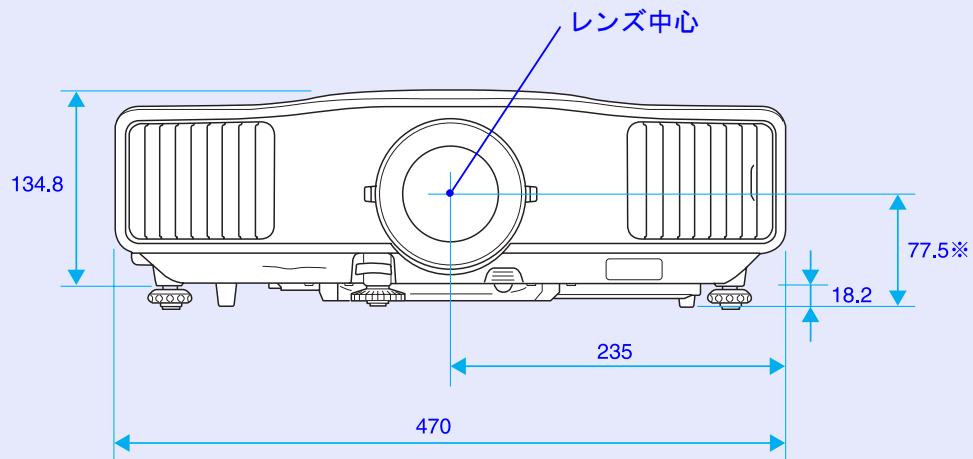


同梱ソフトウェアの動作条件

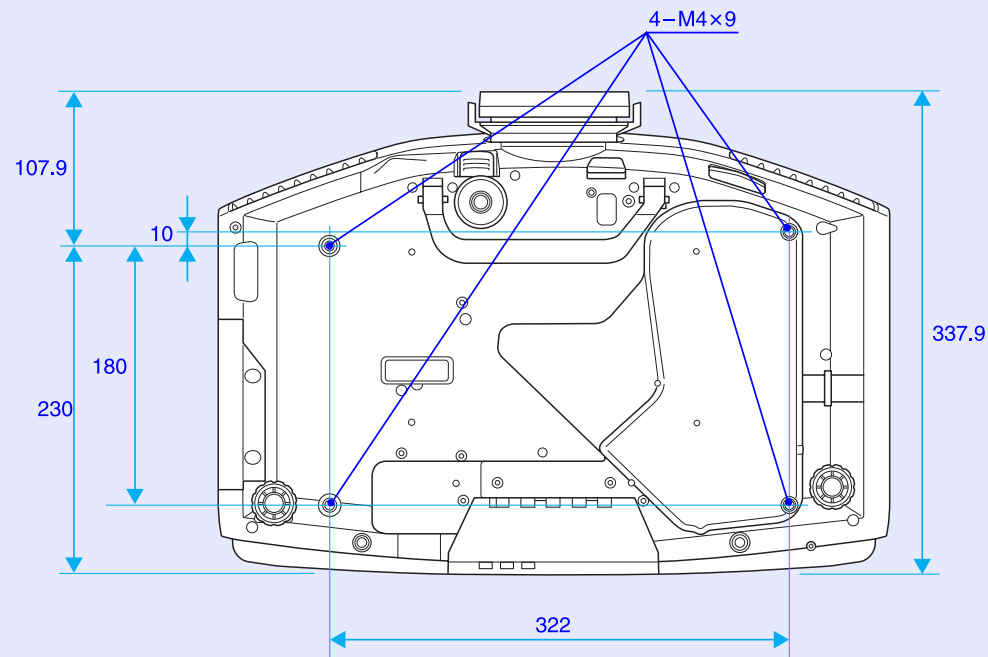
本機に添付のソフトウェアは、以下の条件を満たすコンピュータで動作します。
EMP NS Connection、EMP SlideMaker2、USB DisplayはEB-G5350にのみ添付されています。

	EMP NS Connection	EMP SlideMaker2※	EMP Monitor	USB Display
OS	Windows 2000 SP4/XP/ XP SP1/XP SP2/Vista Mac OS X 10.3 以上 推奨:Mac OS 10.5.1以上 10.4.11/10.3.9	Windows 98/98 SE/Me/2000 SP4/XP/XP SP1/XP SP2/Vista	Windows 98 SE SP1/Me/ NT4.0 SP6/2000 SP4/ XP 32Bit版(Home Edition/ Professional)SP1以降/ Vista Internet Explorer Ver.5 以降を搭載	Windows 2000 SP4/XP/ XP SP1/XP SP2/Vista
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 Power PC G3 900MHz以上 推奨:Pentium M 1.6GHz 以上 CoreDuo 1.5GHz以上	Celeron 300MHz以上 推奨:Celeron 400MHz以上	Pentium MMX 166MHz以上 推奨:Pentium II 233MHz以上	Mobile Pentium III 1.2GHz 以上 推奨:Pentium M 1.6GHz以上
メモリ容量	256MB以上 推奨:512MB以上	64MB以上 推奨:128MB以上	64MB以上	256MB以上 推奨:512MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上	12MB 以上	50MB以上	20MB以上
ディスプレイ	XGA(1024×768)以上の解像度 16ビットカラー以上の表示色 約32000色の表示色		SVGA(800×600)以上の解像度 32ビットフルカラー以上の 表示色	XGA(1024×768)以上の解像度 16ビットカラー以上の表示色 約32000色の表示色

※ PowerPointファイルを利用する場合は、Office2000/XP/2003/2007、PowerPoint2000/2002/2003/2007 のいずれかが必要です。



※レンズ中心から天吊固定部までの寸法



単位:mm

本書で使用している用語で本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWEBサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 <u>IPアドレス</u> ▶を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 垂直解像度720p、1080i以上(pは<u>プログレッシブ</u>▶走査、iは<u>インタレース</u>▶走査) ● 画面のアスペクト比▶は16:9 ● <u>ドルビーデジタル</u>▶音声の受信、再生(あるいは出力)
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 <u>HDTV</u> ▶の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルータやコンピュータ、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
SNMPトラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータの <u>IPアドレス</u> ▶のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方もsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器どうしで無線通信できます。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものと呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものと呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものと呼びます。
WPS	Wi-Fi Protected Setupの略で、Wi-Fi Allianceで無線LANの設定や暗号化が簡単にできるように策定した規格です。



XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのもの呼びます。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
ゲートウェイアドレス	<u>サブネットマスク</u> によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバ(ルータ)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb,Pr(色差信号)の3つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて1つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
同期	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常ステレオは2つのスピーカーを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカー、リア2chスピーカー、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。



数字・アルファベット

A/Vミュート	21
BNC入力端子	9
DHCP	47, 52
ESC/VP21	108
Eズーム	27
HDMI入力端子	10
IPアドレス	47, 52, 59
LANケーブルの接続	106
LAN端子	9
MACアドレス	47
PJLink	111
PJLinkパスワード	47
SDカードスロット	9
SDメモリカード	104
SMTPサーバ	48, 59
SNMP	48
SNMPトラップIPアドレス	60
SNMPメニュー	60
sRGB	20
SSID	52
S-ビデオ入力端子	9
USB機器の接続	103
Web制御パスワード	47

ア

明るさ	40
宛先1/2/3設定	48
色合い	40
色の濃さ	40
インジケータ	66
エアークフィルタの交換時期	87
エアークフィルタの交換方法	87

エアークフィルタ・吸気口の掃除	80
映像メニュー	41
オーバーヒート	67
オプション品	89
音声出力端子	10
音声入力端子	9
温度インジケータ	66
音量	43

カ

外形寸法図	121
解像度	112
外部スピーカー	100
外部モニタ	100
拡張設定メニュー	45
各部の名称と働き	7
画質調整メニュー	40
カラー調整	40
カラーモード	20, 40
環境設定メニュー	39
輝度切替	43
基本設定メニュー	51
傾斜角度	119
ゲートウェイアドレス	47, 52, 58
ゲーム	20
言語	46
高地モード	46
黒板	20
故障かなと思ったら	66
コントラスト	40
コンピュータ1入力端子	9
コンピュータ2入力端子	10

サ

サブネットマスク	47, 52, 58
サブメニュー	39
シアター	20
自動調整	41
シャープネス	40
仕様一覧	118
情報メニュー	62
消耗品	90
初期化メニュー	63
ズームリング	7
スクリーンサイズ	98
スタートアップスクリーン	45
スピーカー	100
スポーツ	20
スリープモード	46
静止	21
セキュリティスロット	9
セキュリティメニュー	54
絶対色温度	40
設置モード	45
設定メニュー	43
全初期化	63
全ロック	35
操作パネル	11
操作ボタンロック	35, 43
ソフトキーボード	48, 50

タ

ターゲットスコープ	27
対応解像度	112
待機モード	46
台形補正	43



ダイレクトパワーオン	46
低輝度	43
電源インジケータ	66
電源端子	9
電源投入時	33
電池の交換方法	83
天吊り	45
天吊り固定部	8, 121
問い合わせコード	35
同期	41
同期情報	62
動作温度範囲	118
動作設定	46
投写距離	98
トップメニュー	39
トラッキング	41
トラップIPアドレス	48

ナ

入力解像度	62
入力検出	11, 18
入力信号	62
入力ソース	62
ネットワークドライブパスワード	51
ネットワークプロジェクタ	110
ネットワーク保護	34
ネットワークメニュー	47, 49

ハ

排気口	7
背景表示	45
パスワードプロテクト	33
パスワードプロテクトシール	33

ビデオ1/2入力端子	9
ビデオ信号方式	42, 62
表示位置	41
表示設定	45
フォト	20
プレゼンテーション	20
プログレッシブ変換	41
プロジェクターID	29
プロジェクター名	48, 51
フロント	45
フロントフット	7
ヘルプ機能	65
ポインタ	26
ポインタ形状	43
ポート番号	48, 59
保存温度範囲	118
本機の掃除	80

マ

マルチスクリーンアジャストメント	31
無線LANメニュー	52
メール	48
メールアドレス1/2/3	59
メール通知機能	48, 59
メール通知メニュー	59
メッセージ表示	45
メニュー	39
モニタ出力端子	10

ヤ

ユーザーロゴ	92
ユーザーロゴ保護	33
有線LAN	47

有線LANメニュー	58
-----------	----

ラ

ランプインジケータ	66
ランプカバー	7
ランプ点灯時間	62
ランプ点灯時間の初期化	63, 86
ランプの交換時期	84
ランプの交換方法	84
リア	45
リアスクリーン	79
リアフット	8
リフレッシュレート	62
リモコン	12
リモコン受光部	7

ワ

ワイドサイズの映像	22
-----------	----



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡ください。よろしくお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Inc. の商標です。

Windows、Windows NT、Windows Vista、PowerPointは米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

本製品は、RSA Security Inc. のRSA[®] BSAFE[™]ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc. の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc. の米国および他の国における登録商標です。

本製品では、東芝情報システム株式会社の **NetNucleus[®] WPA**ソフトウェアを搭載しています。

NetNucleusは、日本における東芝情報システム株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソンのホームページ <http://www.epson.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。
インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からの問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
FAQ <http://www.epson.jp/faq/>

●プロジェクトインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-54-5800へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービス(修理品有償ピックアップサービス)に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ <http://www.epson.jp/support/> でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.epson.jp/showroom/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
 【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
 エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪府中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
 【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

●MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

<http://myepson.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト(ホームページアドレス <http://www.epson.jp/shop/> または通話料無料 0120-545-101)でお買い求めください。(2007年9月現在)

エプソン販売株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5